



Fibre Channel コントローラ
(N8190-127/131/153/154
N8403-018/034)

Target ID 固定手順書

Rev. 1.0
2010.11.15

開示および用途制限資料

この資料にかかわるすべての権利は日本電気株式会社にあります。提供された目的以外にこの資料を使用することはできません。また、日本電気株式会社の許可なく、この資料の複製・改変・第三者への開示を行うことはできません。

■ はじめに

本書は N8190-127/131/153/154/N8403-018/034 Fibre Channel コントローラ（以下 FC コントローラ）で接続した iStorage に対して Windows Server 2008 R2/2008/2003 環境において Target ID を固定する手順について記載しています。

【対象 OS】

- Windows Server 2003 (x86) SP1 以降 ※1
- Windows Server 2003 (x64) SP1 以降 ※1
- Windows Server 2003 R2 (x86) 全 SP
- Windows Server 2003 R2 (x64) 全 SP
- Windows Server 2008 (x86) 全 SP
- Windows Server 2008 (x64) 全 SP
- Windows Server 2008 R2

※1: 8Gbps 対応 FC コントローラ N8190-153/154/N8403-034 を使用する場合は SP2 以降。

【対象 FC コントローラ】

- N8190-127
- N8190-131
- N8190-153
- N8190-154
- N8403-018
- N8403-034

【対象接続装置】

- iStorage D/E/S シリーズ

注意：iStorage Tシリーズを接続するときは『iStorage Tシリーズ Target ID 固定手順書』をhttp://istorage.file.fc.nec.co.jp/products/t/config/guide/install_guide/install.htmから入手して参照してください。

【対象構成】

- 1つのFCコントローラの配下に複数のiStorage D/E/SシリーズをFCスイッチ経由で接続する構成で、ドライブレータを割り当てずに使用するとき。
- SAN Boot (FCデバイスにOSをインストールした) 構成でないこと。

注意：1つのFCコントローラから接続されるiStorageが1つだけの場合や、ドライブレータを割り当てて使用する場合は、Target IDを固定する必要はありません。SAN Boot構成ではOSが起動しなくなることがありますので、本書の手順でTarget IDを固定しないでください。

【商標および登録商標】

- Emulex および HBAware、LightPulse は、米国 Emulex Corporation の登録商標です。
- Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

なお、本書において TM および ® は明記していません。

【略語／表記について】

本書で使用している主な略語および表記を説明します。

項番	略語・表記	正式名称・意味
1	FC	「Fibre Channel」
2	SAN Boot	FC デバイスに OS をインストールして起動する構成
3	HBAware	Target Mapping を設定するソフトウェアの名称
4	WWPN	「World Wide Port Name」
5	EXPRESSBUILDER	EXPRESS5800 シリーズに付属するソフトウェアの名称

※本書内で「ボタン」、「タブ」等の表記は各取扱説明書の表記に準じています。

【改版履歴】

Rev.	日付	主な改版内容
1.0	2010/11/15	・初版

目 次

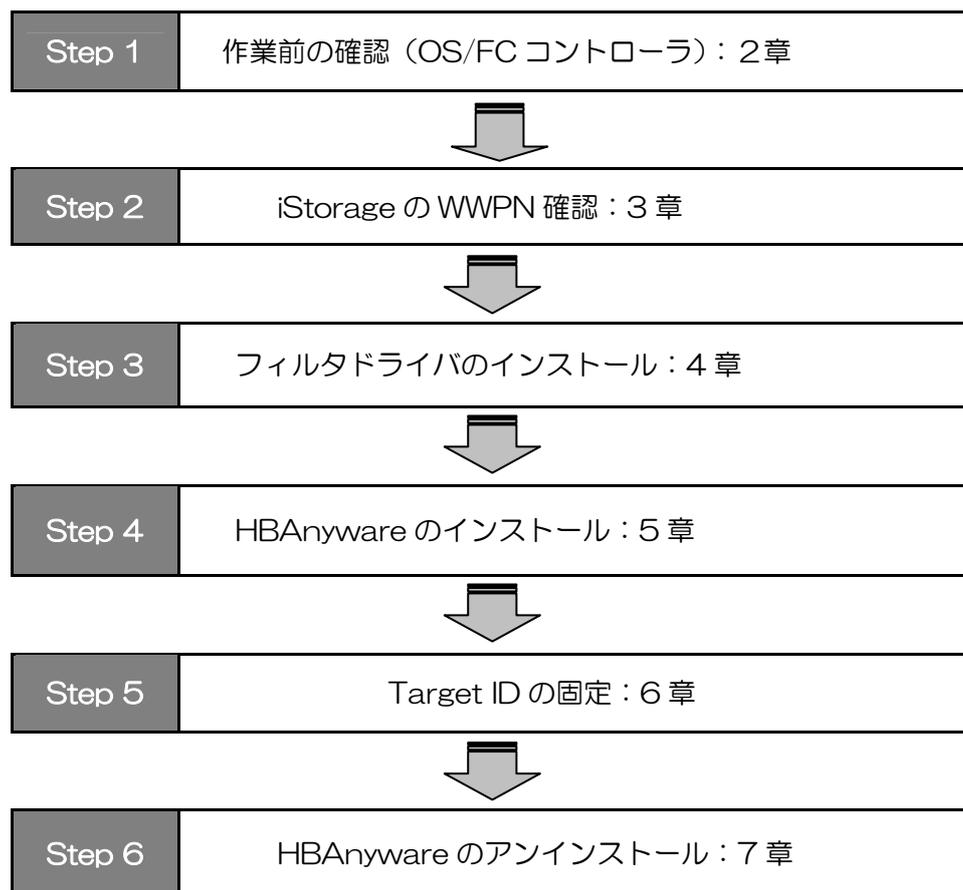
■ はじめに.....	2
1. Target ID固定作業の流れ.....	6
2. 作業前の確認事項.....	7
2.1 iStorage接続環境の確認.....	7
2.2 接続状態の確認.....	8
3 iStorage WWPNの確認.....	9
4.フィルタドライバのインストール.....	10
4.1 N8190-127/131 + Windows Server 2003 用フィルタドライバの準備.....	11
4.2 N8190-127/131 + Windows Server 2008 用フィルタドライバの準備.....	11
4.3 N8190-127/131 + Windows Server 2008 R2 用フィルタドライバの準備.....	11
4.4 N8403-018 + Windows Server 2003 用フィルタドライバの準備.....	11
4.5 N8403-018 + Windows Server 2008 用フィルタドライバの準備.....	12
4.6 N8403-018 + Windows Server 2008 R2 用フィルタドライバの準備.....	12
4.7 N8190-153/154/N8403-034 + Windows Server 2008 R2/2008/2003 用フィルタドライバの準備.....	12
4.8 フィルタドライバのインストール（Windows Server 2003）.....	13
4.9 フィルタドライバのインストール（Windows Server 2008）.....	20
4.10 フィルタドライバのインストール（Windows Server 2008 R2）.....	27
5. HBAwareのインストール.....	34
5.1 N8190-127/131/N8403-018 + Windows Server 2003 の場合.....	35
5.2 N8190-127/131/N8403-018 + Windows Server 2008 R2/2008 の場合.....	38
5.3 N8190-153/154/N8403-034 + Windows Server 2008 R2/2008/2003 の場合.....	43
5.4 HBAware使用時の注意事項.....	47
6. Target IDの固定.....	48
7. HBAwareのアンインストール.....	58
7.1 Windows Server 2003 の場合.....	58
7.2 Windows Server 2008 R2/2008 の場合.....	58
8. 特記事項.....	59

1. Target ID 固定作業の流れ

ご使用の環境（OS と FC コントローラの組み合わせ）により、ダウンロードするファイルおよびインストール方法等が異なりますので、注意してください。

本書で説明している『Target ID 固定作業』の流れを以下に記します。

Target ID 固定作業フロー



2. 作業前の確認事項

本章では『Target ID 固定作業』の作業前に確認が必要となる事項を説明します。

2.1 iStorage 接続環境の確認

ご使用の環境が下表内で対象となっていることを確認します。

表 1 対象環境一覧

対象 OS	
1	Windows Server 2003 (x86) SP1 以降 ※1
2	Windows Server 2003 (x64) SP1 以降 ※1
3	Windows Server 2003 R2 (x86) 全 SP
4	Windows Server 2003 R2 (x64) 全 SP
5	Windows Server 2008 (x86) 全 SP
6	Windows Server 2008 (x64) 全 SP
7	Windows Server 2008 R2

対象 FC コントローラ	
1	N8190-127/N8190-131/N8403-018
2	N8190-153/N8190-154/N8403-034

対象接続装置	
1	iStorage D シリーズ
2	iStorage E シリーズ
3	iStorage S シリーズ

対象構成	
1	1つの FC コントローラの配下に複数の iStorage D/E/S シリーズを FC スイッチ経由で接続する構成で、ドライブレターを割り当てずに使用。 ※2 SAN Boot 構成でないこと。 ※3

※1：N8190-153/154/N8403-034 を使用する場合は SP2 以降。

※2：1つの FC コントローラ配下に接続されている iStorage D/E/S シリーズが1つだけの場合や、ドライブレターを割り当てて使用する場合は、Target ID を固定する必要はありません。

※3：SAN Boot 構成では OS が起動しなくなることがありますので、本書の手順で Target ID を固定しないでください。

2.2 接続状態の確認

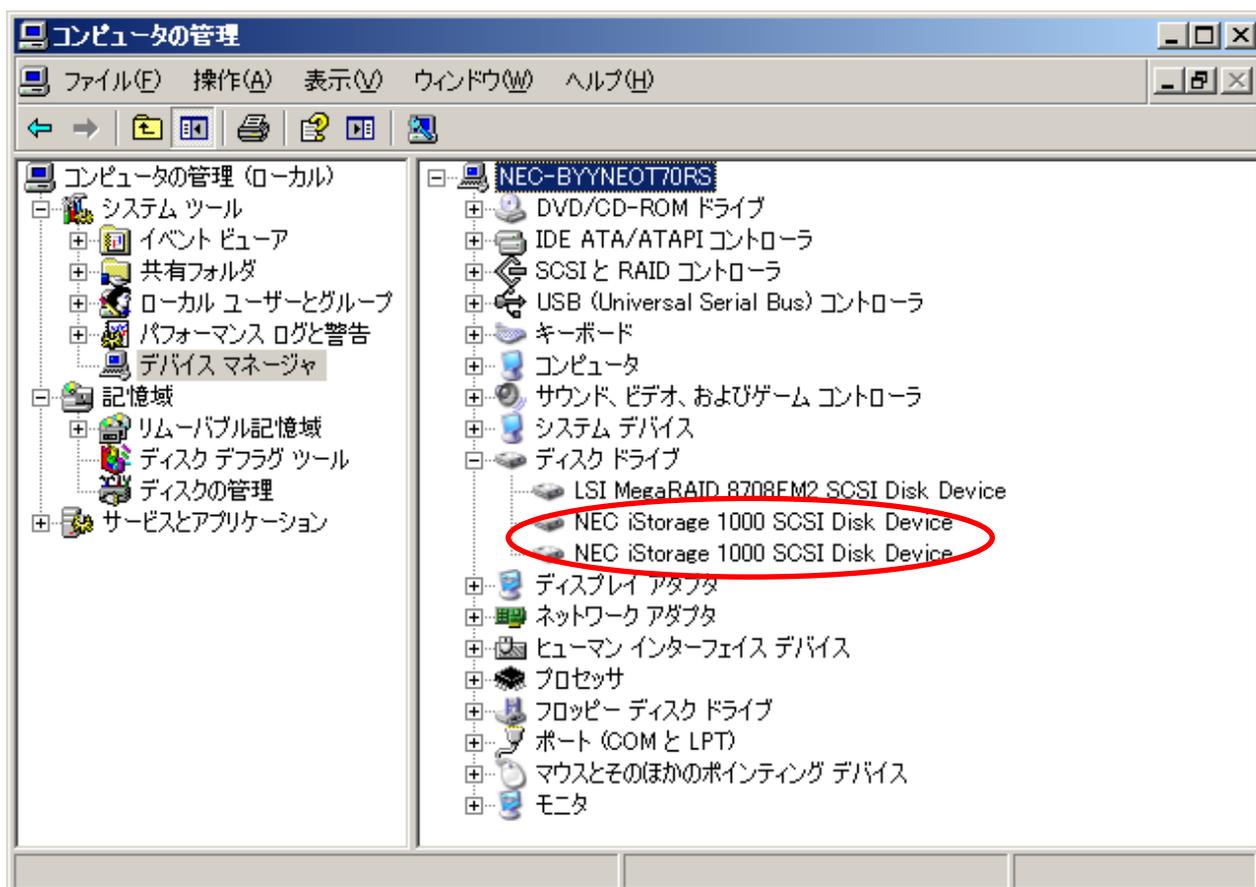
ID 固定対象となる iStorage が OS から認識されていることを確認します。

【手順1】

「コンピュータの管理」→「デバイスマネージャ」を起動します。

【手順2】

対象となる iStorage が表示されていることを確認します。（下図参照）



【手順3】

上記手順で OS から認識されていない場合（表示されない場合）には、本体装置との接続状態（各デバイス・ケーブルの接続／設定等）を再度確認してください。

3 iStorage WWPN の確認

iStorage の WWPN(World Wide Port Name)の確認手順につきましては iStorage に付属するユーザズガイドを参照してください。

4.フィルタドライバのインストール

本章では、Target ID の固定に必要なフィルタドライバ(Emulex PLUS)のインストール手順について説明します。

Target ID を固定設定するために使用するソフトウェア (HBAnyware) を正常に動作させるには、フィルタドライバをインストールする必要があります。また、使用されている環境 (OS と FC コントローラの組み合わせ) により、ドライバ収納場所、およびインストール方法が異なります。表 2 を確認の上、適切な項を参照してフィルタドライバの準備・インストールをおこなってください。

注意：適用されている FC コントローラドライバのバージョンが本章の指定と異なる場合は下表のドライバ収納場所を参照して、FC コントローラのドライバ適用を実施してください。

表 2 ドライバ収納場所一覧

組合せ	FC コントローラ	対象 OS	ドライバ収納場所	参照項
1	N8190-127/131	Windows Server 2003	FC コントローラ添付の ドライバCD※1	4.1 項
2		Windows Server 2008	EXPRESSBUILDER ※2	4.2 項
3		Windows Server 2008 R2	EXPRESSBUILDER ※2	4.3 項
4	N8403-018	Windows Server 2003	EXPRESSBUILDER ※2	4.4 項
5		Windows Server 2008	EXPRESSBUILDER ※2	4.5 項
6		Windows Server 2008 R2	EXPRESSBUILDER ※2	4.6 項
7	N8190-153/154 N8403-034	Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2003	FC コントローラ添付の ドライバCD	4.7 項

※1 添付のドライバCDによっては、ドライバアップデートモジュールを入手する必要があります。

※2 EXPRESSBUILDER の Version によっては、OS のサポートキットを入手する必要があります。

4.1 N8190-127/131 + Windows Server 2003 用フィルタドライバの準備

FC コントローラに添付のドライバ CD に”136-175610-***-C”のような数字 1 2 桁とアルファベット 1 文字の表示があることを確認します。この最後のアルファベットが C 以降の場合はこのドライバ CD の中にフィルタドライバが含まれています。

アルファベットが A もしくは B の場合はドライバアップデートモジュールが必要になりますので”<http://support.express.nec.co.jp/dload/2220000448/>”よりドライバアップデートモジュールをダウンロードします。

ドライバ準備完了後は「4.8 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2003)」へ進みます。

4.2 N8190-127/131 + Windows Server 2008 用フィルタドライバの準備

本体装置に添付の EXPRESSBUILDER のバージョンが 5.10-009.01 以降であれば、その EXPRESSBUILDER を使用して OEM-Disk を作成します。

それ以前のバージョンの場合は Windows Server 2008 サポートキットにフィルタドライバが含まれていますので”<http://support.express.nec.co.jp/w2008/>”より使用される本体装置の Windows Server 2008 用ドライバをダウンロードします。

ドライバ準備完了後は「4.9 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2008)」へ進みます。

4.3 N8190-127/131 + Windows Server 2008 R2 用フィルタドライバの準備

本体装置に添付の EXPRESSBUILDER のバージョンが 5.10-014.01 以降であれば、その EXPRESSBUILDER を使用して OEM-Disk を作成します。

それ以前のバージョンの場合は Windows Server 2008 R2 サポートキットにフィルタドライバが含まれていますので”<http://support.express.nec.co.jp/os/w2008r2/>”より使用される本体装置の Windows Server 2008 R2 用ドライバをダウンロードします。

ドライバ準備完了後は「4.10 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2008 R2)」へ進みます。

4.4 N8403-018 + Windows Server 2003 用フィルタドライバの準備

本体装置に添付の EXPRESSBUILDER を使用して OEM-Disk を作成します。

ドライバ準備完了後は「4.8 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2003)」へ進みます。

4.5 N8403-018 + Windows Server 2008 用フィルタドライバの準備

本体装置に添付の EXPRESSBUILDER のバージョンが 5.40-001.01 以降であれば、その EXPRESSBUILDER を使用して OEM-Disk を作成します。

それ以前のバージョンの場合は Windows Server 2008 サポートキットにフィルタドライバが含まれていますので“<http://support.express.nec.co.jp/w2008/>”より使用される本体装置の Windows Server 2008 用ドライバをダウンロードします。

ドライバ準備完了後は「4.9 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2008)」へ進みます。

4.6 N8403-018 + Windows Server 2008 R2 用フィルタドライバの準備

本体装置に添付の EXPRESSBUILDER のバージョンが 5.40-004.03 以降であれば、その EXPRESSBUILDER を使用して OEM-Disk を作成します。

それ以前のバージョンの場合は Windows Server 2008 R2 サポートキットにフィルタドライバが含まれていますので“<http://support.express.nec.co.jp/os/w2008r2/>”より使用される本体装置の Windows Server 2008 R2 用ドライバをダウンロードします。

ドライバ準備完了後は「4.10 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2008 R2)」へ進みます。

4.7 N8190-153/154/N8403-034 + Windows Server 2008 R2/2008/2003 用フィルタドライバの準備

FC コントローラに添付のドライバ CD にフィルタドライバが含まれています。

OS が Windows Server 2003 の場合は「4.8 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2003)」へ進みます。

OS が Windows Server 2008 の場合は「4.9 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2008)」へ進みます。

OS が Windows Server 2008 R2 の場合は「4.10 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2008 R2)」へ進みます。

4.8 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2003)

以降の手順にしたがってフィルタドライバをインストールします。

【手順1】

搭載したFC コントローラのドライバ名称およびバージョンを確認します。

「コンピュータの管理」→「デバイスマネージャ」起動後、搭載した FC コントローラを選択し、その「プロパティ」→「ドライバ」タブを開きます。

下表より確認し、指定された手順へ進みます。

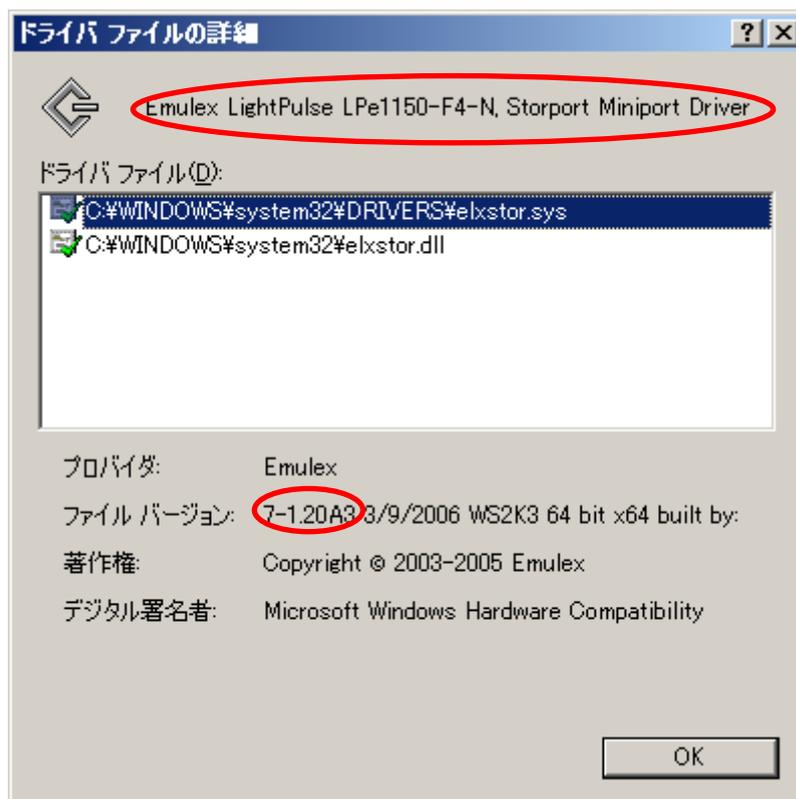
表3 ドライバ名称

FC コントローラ 型番	ドライバ名称 (表示)
N8190-127	Emulex LightPulse LPe1150-F4, Storport Miniport Driver / Emulex LightPulse LPe1150-F4-N, Storport Miniport Driver
N8190-131	Emulex LightPulse LPe11002-M4, Storport Miniport Driver
N8403-018	Emulex LightPulse LPe1105-N, Storport Miniport Driver
N8190-153	Emulex LightPulse LPe1250-F8, Storport Miniport Driver
N8190-154	Emulex LightPulse LPe12002-M8, Storport Miniport Driver
N8403-034	Emulex LightPulse LPe1205-N, Storport Miniport Driver

表4 ドライバ・バージョン

OS	ドライバ・バージョン
Windows Server 2003 (x86)	5-1.11A0/5-1.20A3/ 5.2.20.006
Windows Server 2003 (x64)	7-1.11A0/7-1.20A3/ 7.2.20.006

※バージョンを確認する際は「ドライバの詳細」をクリックしてください。



- ドライババージョンが 5-1.20A3、7-1.20A3、5.2.20.006、7.2.20.006 のいずれかである。
⇒【手順2】へ進みます。
- N8190-127/131 のドライババージョンが 5-1.11A0 もしくは 7-1.11A0 である。
⇒フィルタドライバのインストールは不要です。5章の「HBAnyware のインストール」へ進みます。

注意：2010年11月現在のN8190-127/131用最新ドライバは5-1.20A3/7-1.20A3です。5-11.A0 もしくは 7-1.11A0 をご使用の場合は最新ドライバへのアップデートを検討願います。

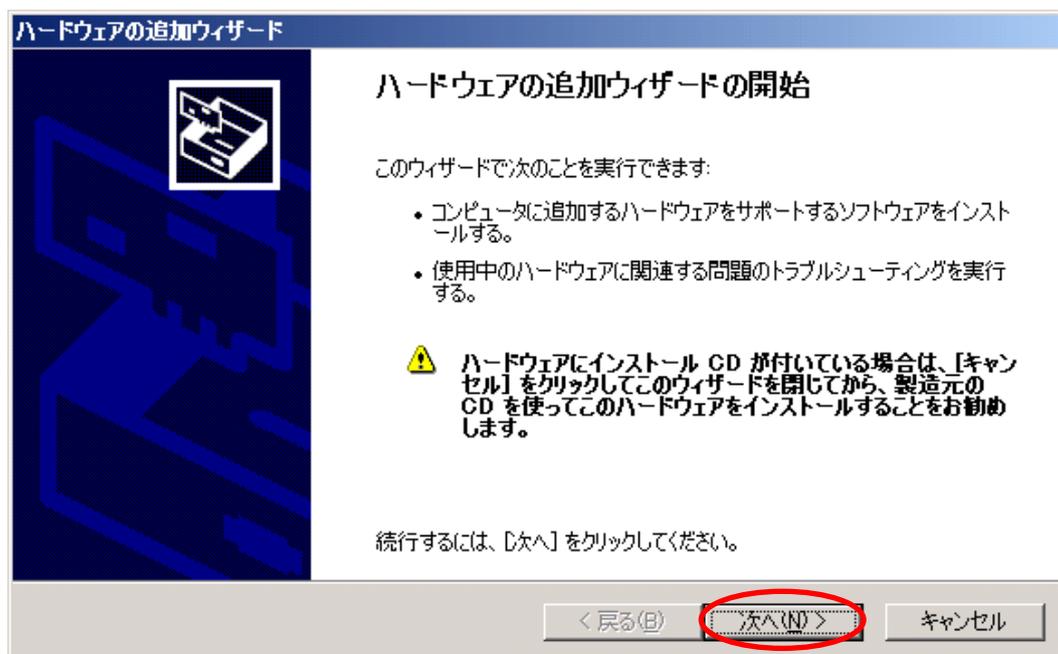
【手順 2】

「スタートメニュー」→「コントロールパネル」→「ハードウェアの追加」を選択します。

【手順 3】

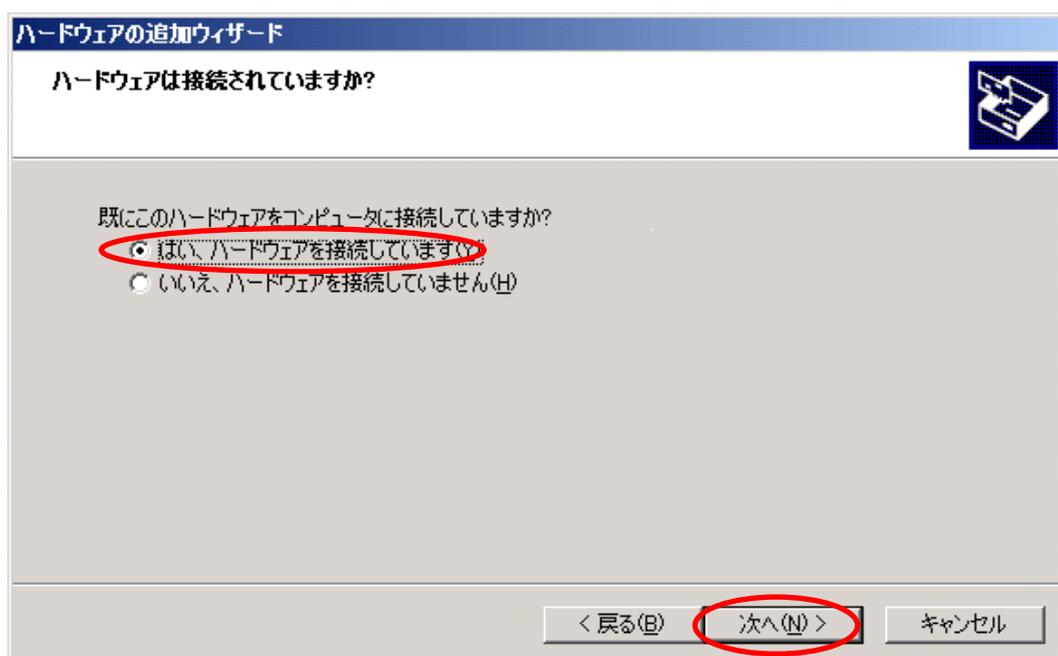
ハードウェアの追加ウィザードの開始が表示されます。

『次へ』ボタンをクリックします。



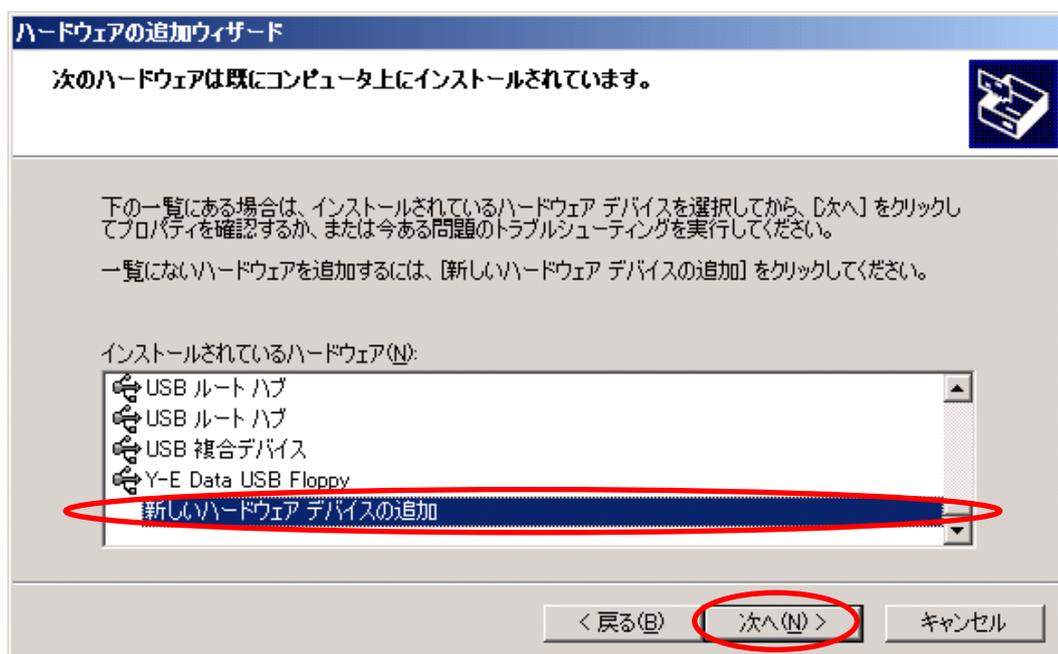
【手順 4】

「はい、ハードウェアを接続しています」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



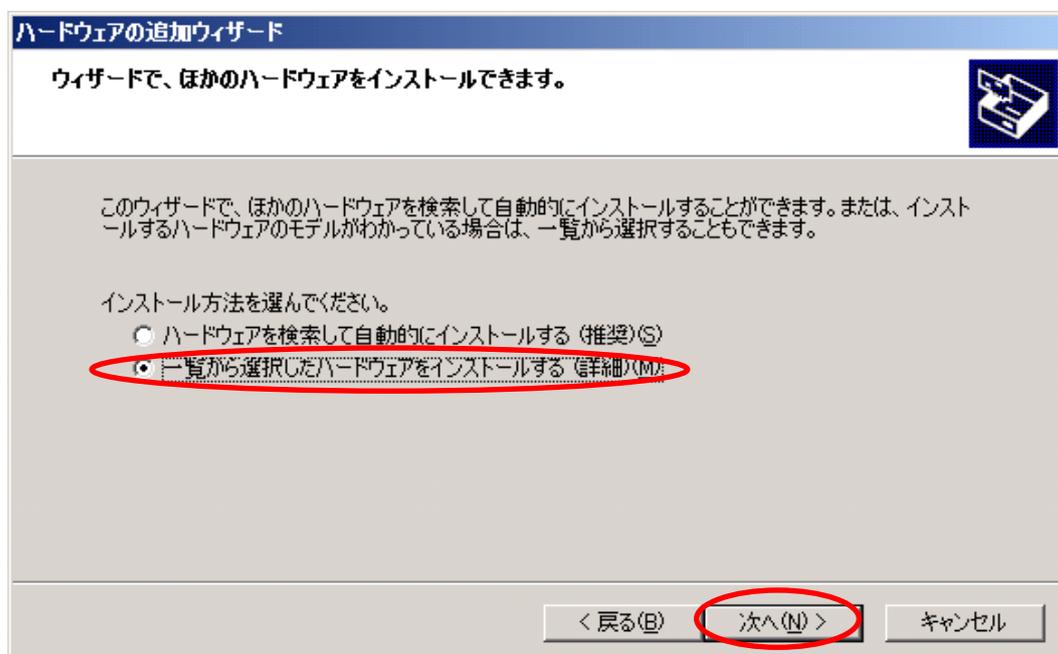
【手順 5】

「新しいハードウェアデバイスの追加」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



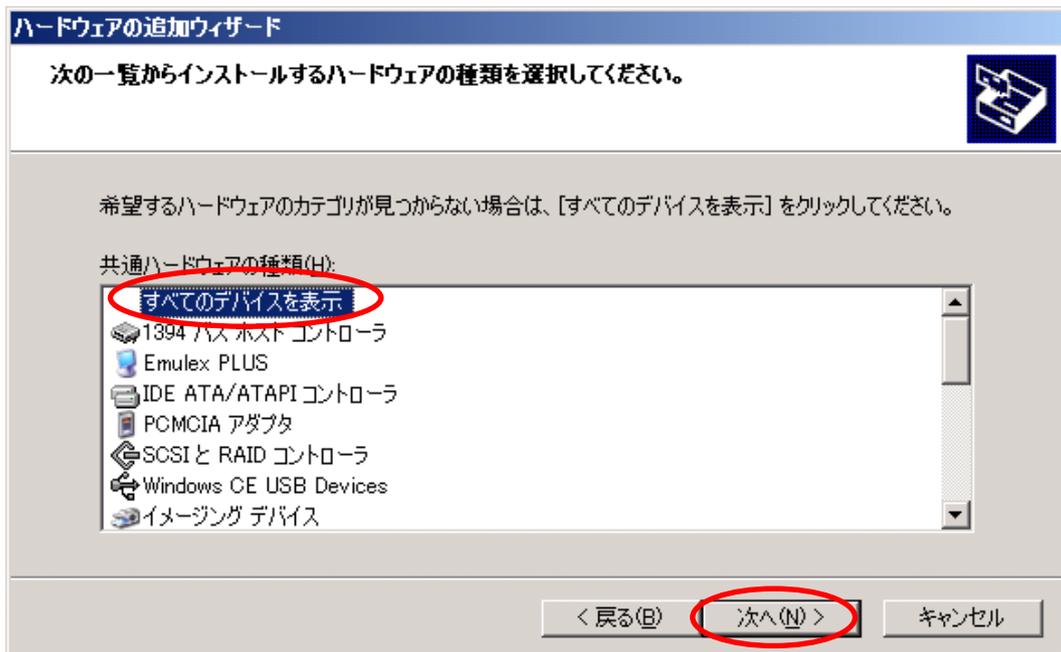
【手順 6】

「一覧から選択したハードウェアをインストールする」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



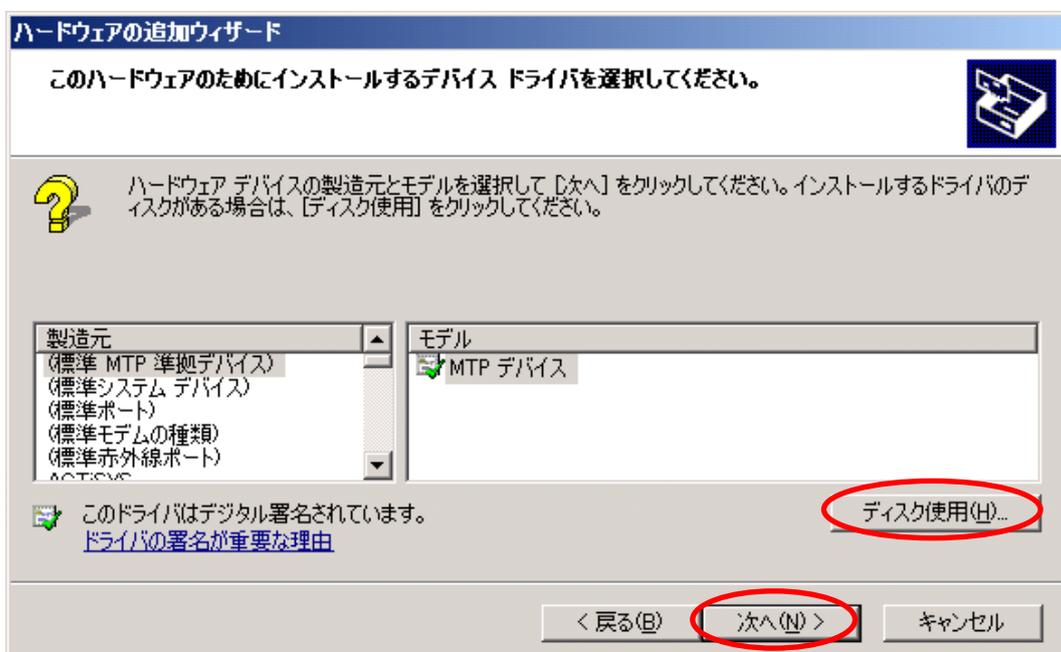
【手順 7】

「すべてのデバイスを表示」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



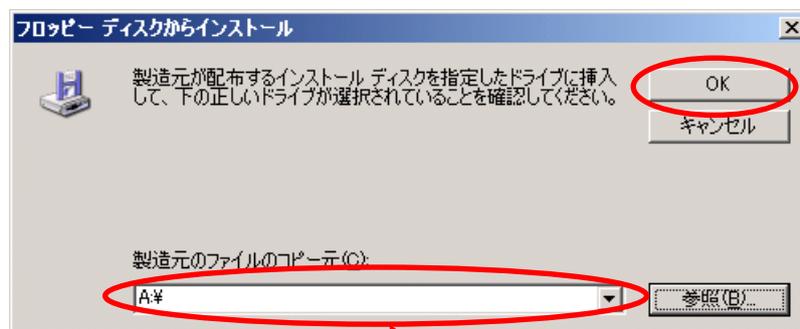
【手順 8】

『ディスク使用』ボタンをクリック後、『次へ』ボタンをクリックします。



【手順 9】

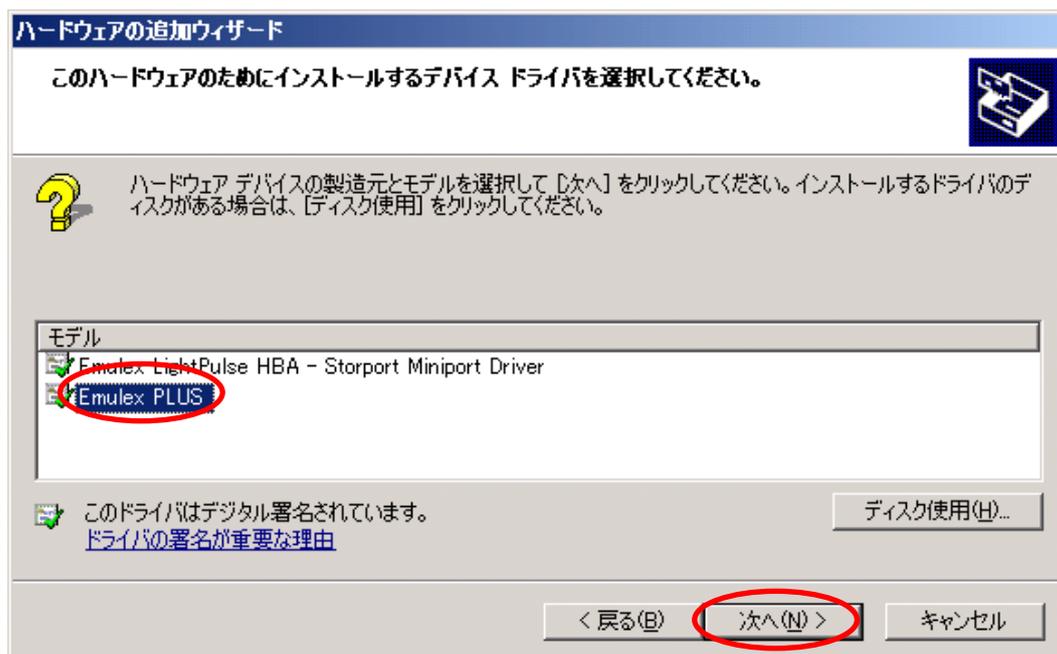
「製造元のファイルのコピー元」に FC ドライバの収納パス（「elxplus.inf」ファイルが含まれるフォルダを指定）を入力し、『OK』ボタンをクリックします。



FCドライブの収納パスを入力します。

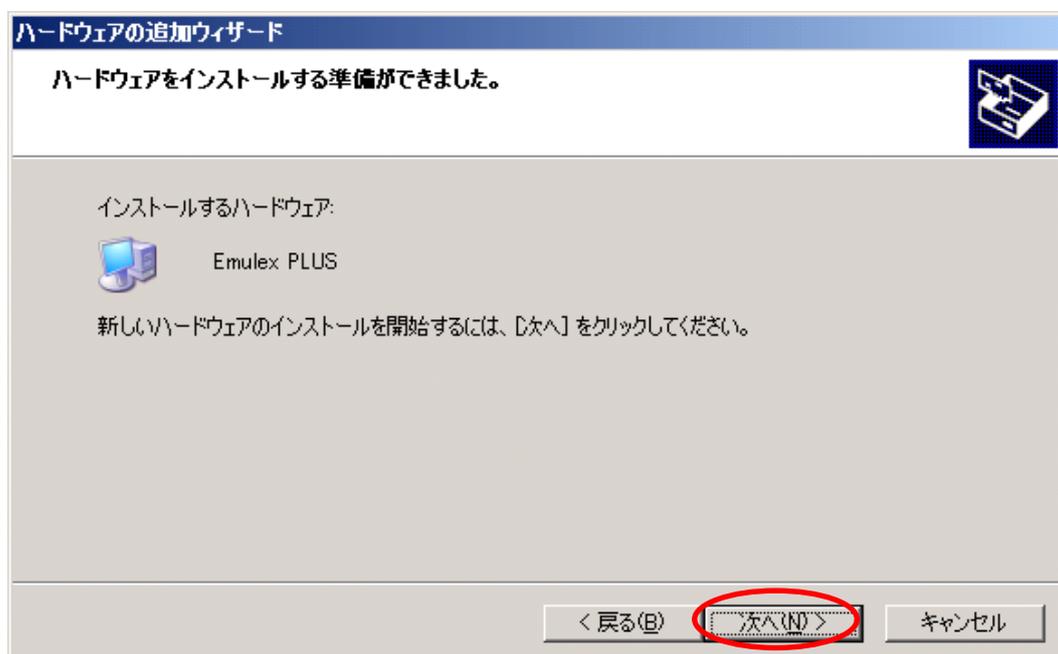
【手順 10】

「Emulex PLUS」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



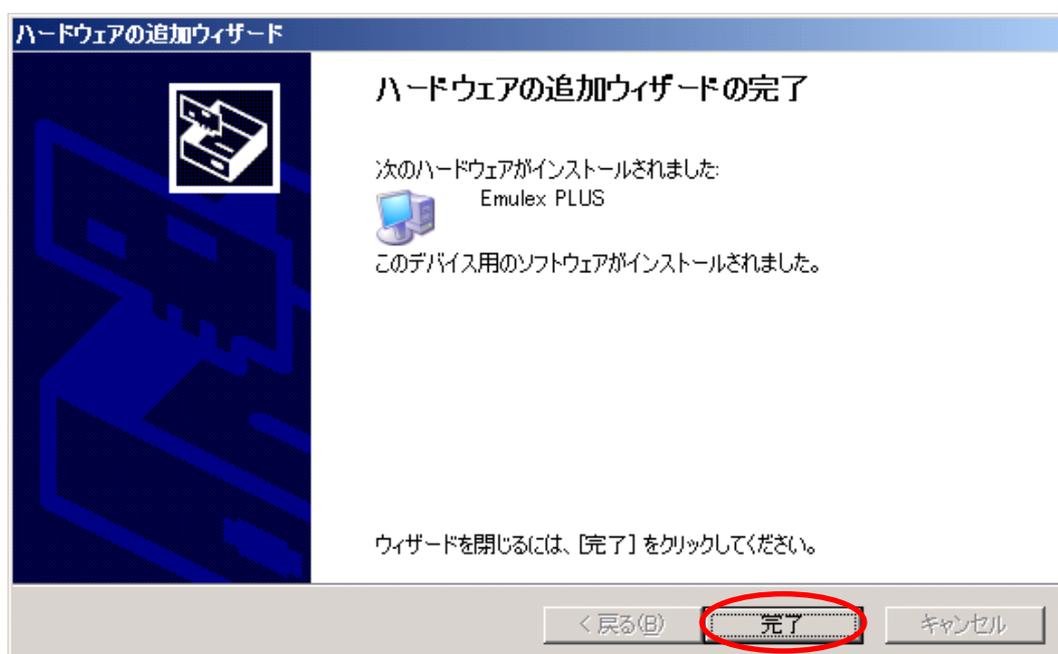
【手順 11】

『次へ』ボタンをクリックします。



【手順 12】

フィルタドライバ (Emulex PLUS) のインストール完了画面が表示されます。
『完了』ボタンをクリックし、Windows を再起動します。



【手順 13.】

再起動後、「コンピュータの管理」→「デバイスマネージャ」を起動し、対象となる FC コントローラが正しく認識されていることを確認できれば、5 章「HBAnyware のインストール」へ進みます。

4.9 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2008)

以降の手順にしたがってフィルタドライバをインストールします。

【手順1】

搭載したFC コントローラのドライバ名称およびバージョンを確認します。

「コンピュータの管理」→「デバイスマネージャ」起動後、搭載した FC コントローラを選択し、その「プロパティ」→「ドライバ」タブを開きます。

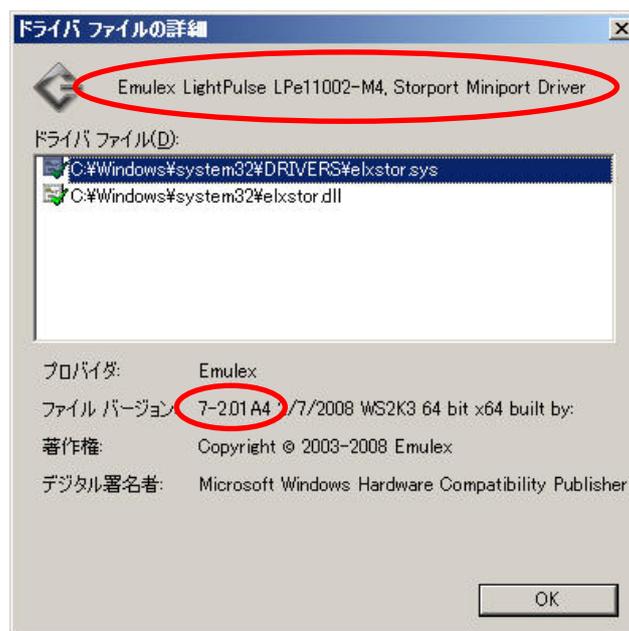
表5 ドライバ名称

FC コントローラ 型番	ドライバ名称 (表示)
N8190-127	Emulex LightPulse LPe1150-F4, Storport Miniport Driver / Emulex LightPulse LPe1150-F4-N, Storport Miniport Driver
N8190-131	Emulex LightPulse LPe11002-M4, Storport Miniport Driver
N8403-018	Emulex LightPulse LPe1105-N, Storport Miniport Driver
N8190-153	Emulex LightPulse LPe1250-F8, Storport Miniport Driver
N8190-154	Emulex LightPulse LPe12002-M8, Storport Miniport Driver
N8403-034	Emulex LightPulse LPe1205-N, Storport Miniport Driver

表6 ドライバ・バージョン

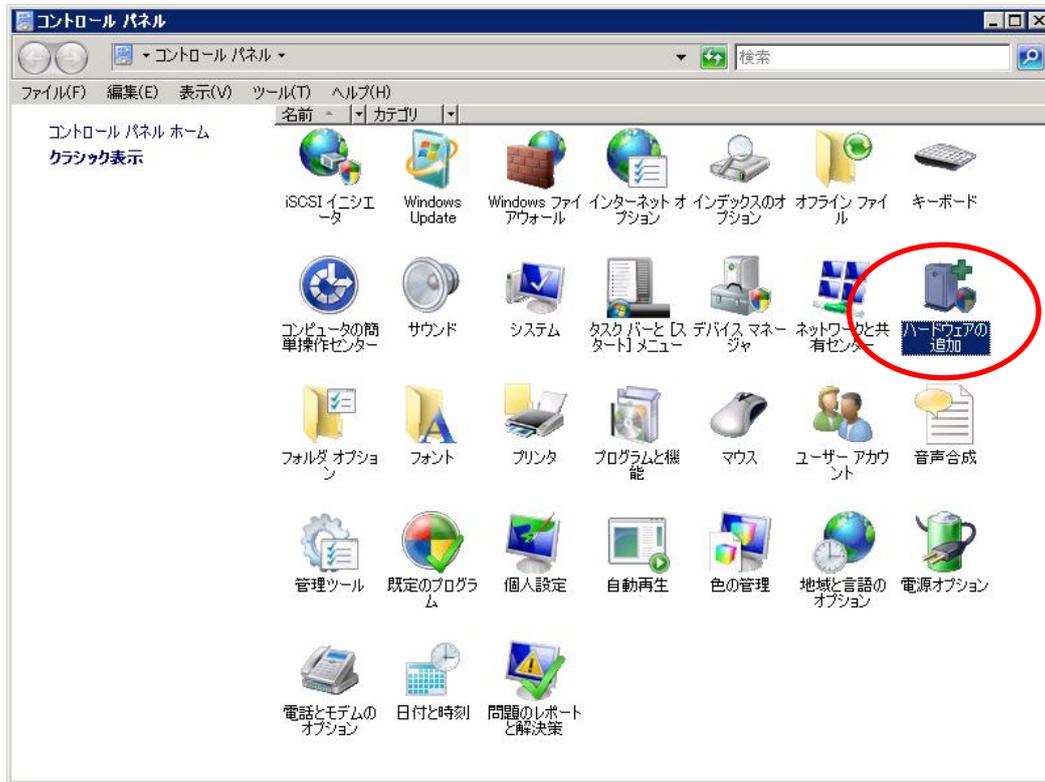
OS	ドライバ・バージョン
Windows Server 2008 (x86)	5-2.01A4/5.2.20.006
Windows Server 2008 (x64)	7-2.01A4/7.2.20.006

※バージョンを確認する際は「ドライバの詳細」をクリックしてください。



【手順 2】

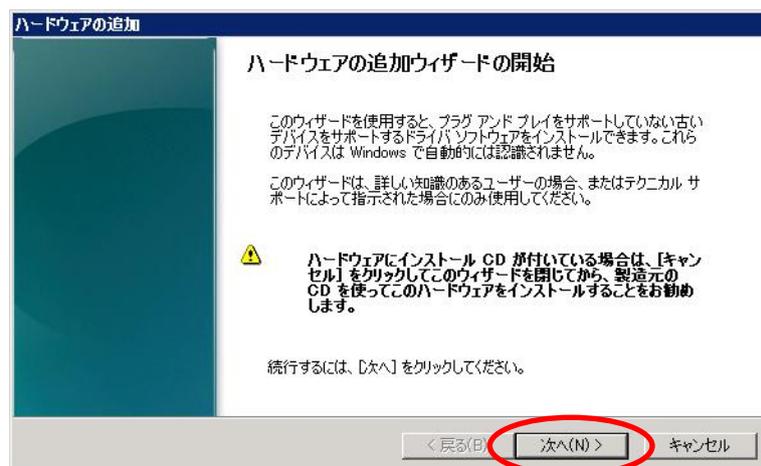
「コントロールパネル」→「ハードウェアの追加」を実行します。



【手順 3】

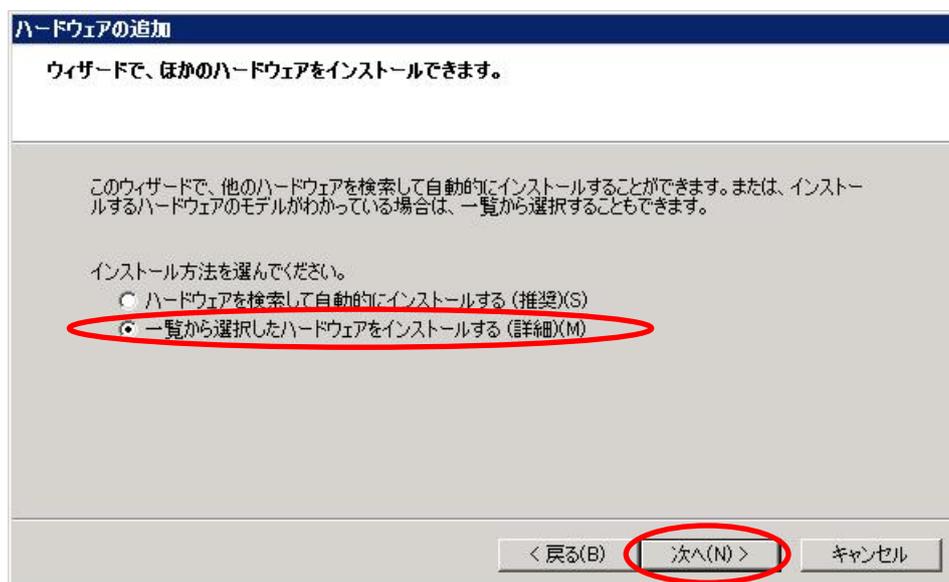
ハードウェアの追加ウィザードの開始が表示されます。

『次へ』ボタンをクリックします。



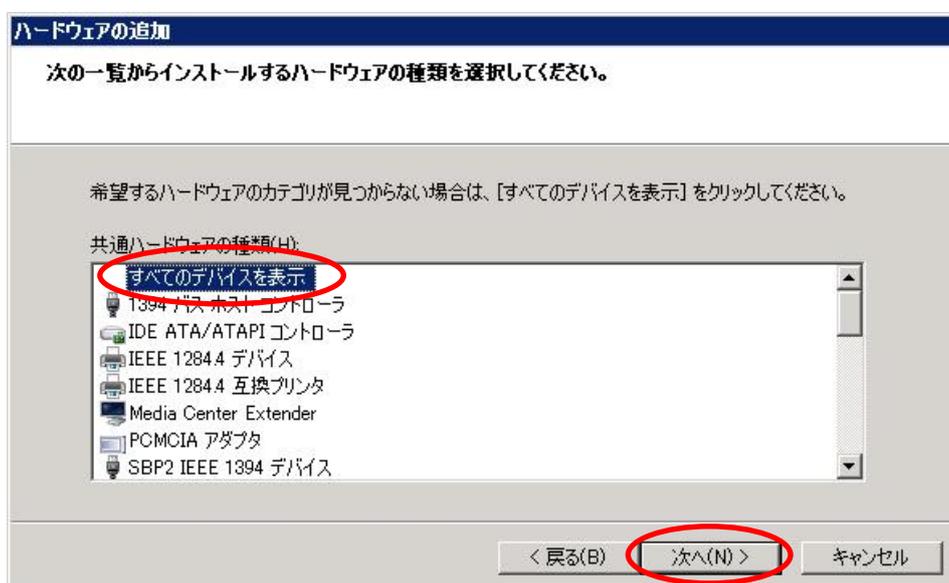
【手順 4】

「一覧から選択したハードウェアをインストールする」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



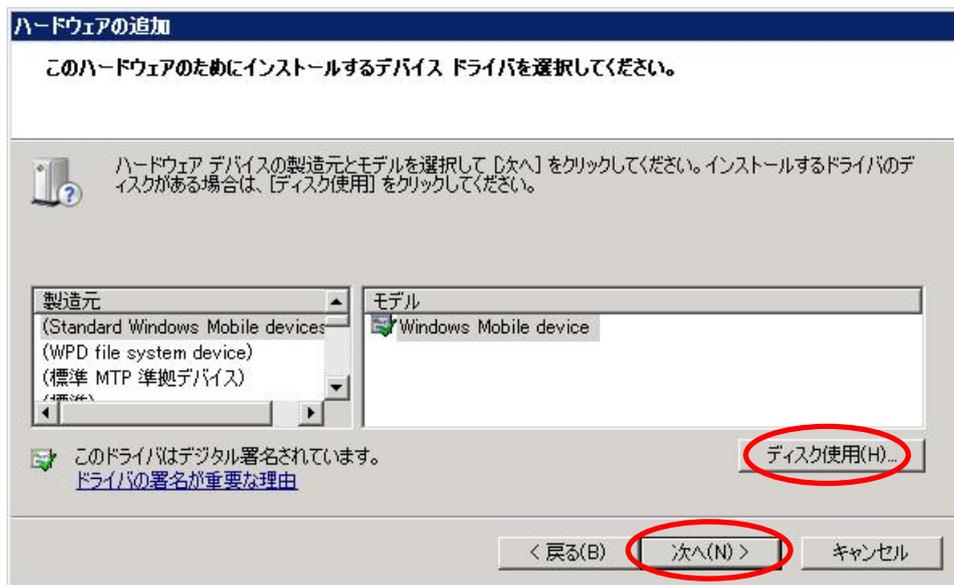
【手順 5】

「すべてのデバイスを表示」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



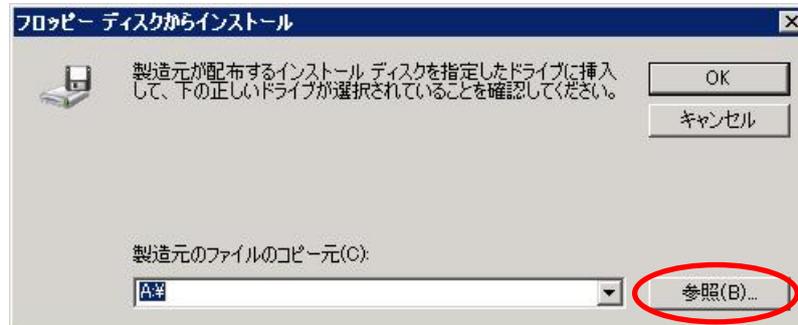
【手順 6】

『ディスク使用』ボタンをクリック後、『次へ』ボタンをクリックします。



【手順 7】

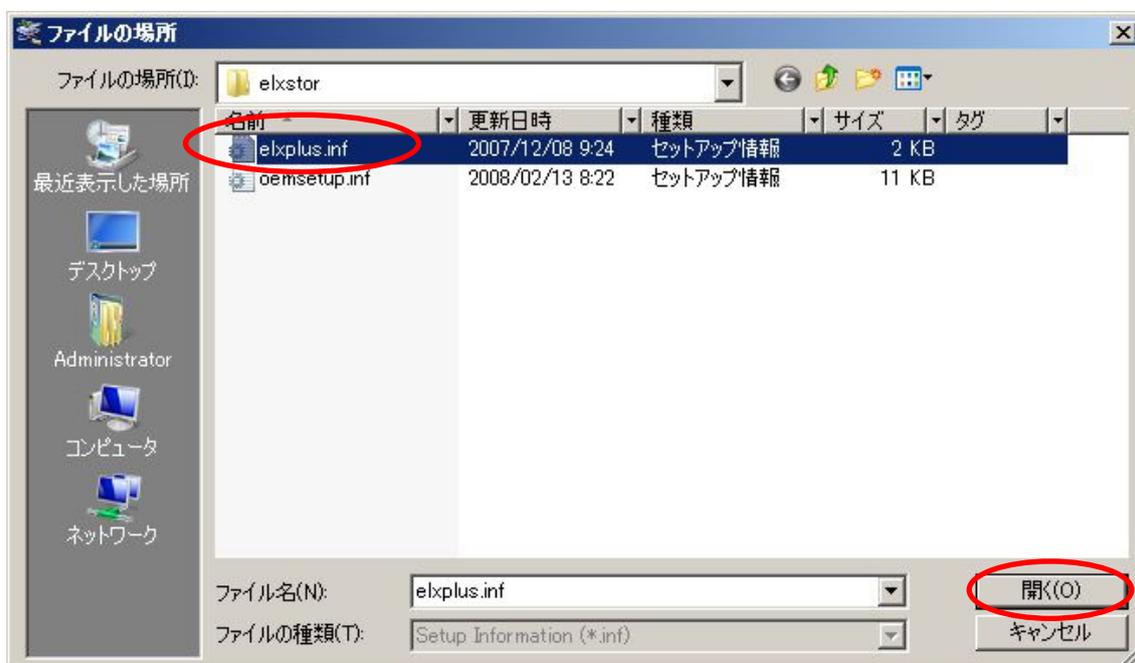
「製造元のファイルのコピー元」に FC ドライバの収納パス（「elxplus.inf」ファイルが含まれるフォルダを指定）を入力し、『OK』ボタンをクリックします。



【手順 8】

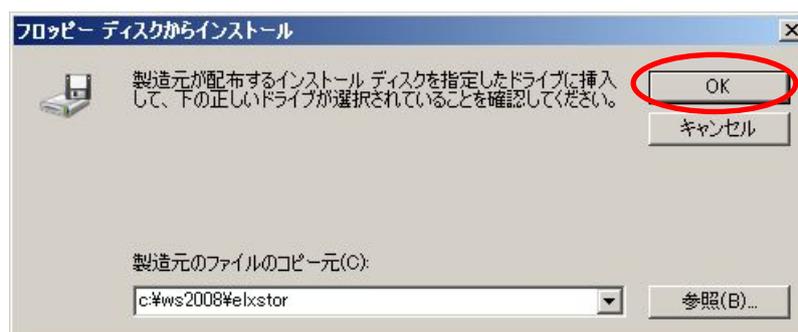
「elxplus.inf」ファイルを選択し、『開く』ボタンをクリックします。

※本例では「c:\%ws2008%\elxstor」フォルダ内に「elxplus.inf」ファイルが存在します。



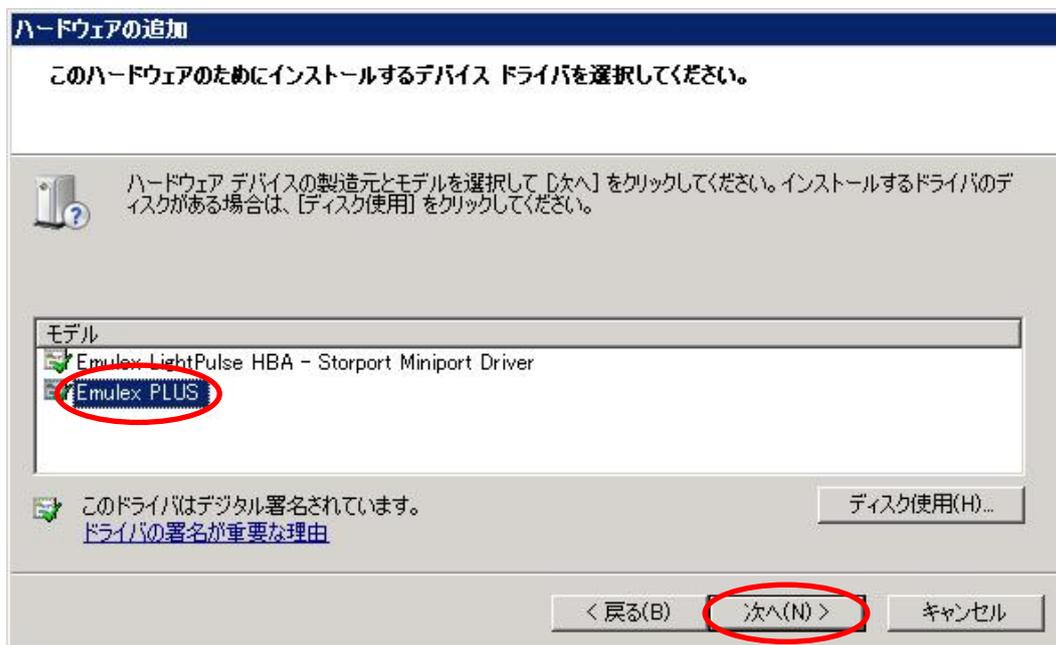
【手順 9】

『OK』ボタンをクリックします。



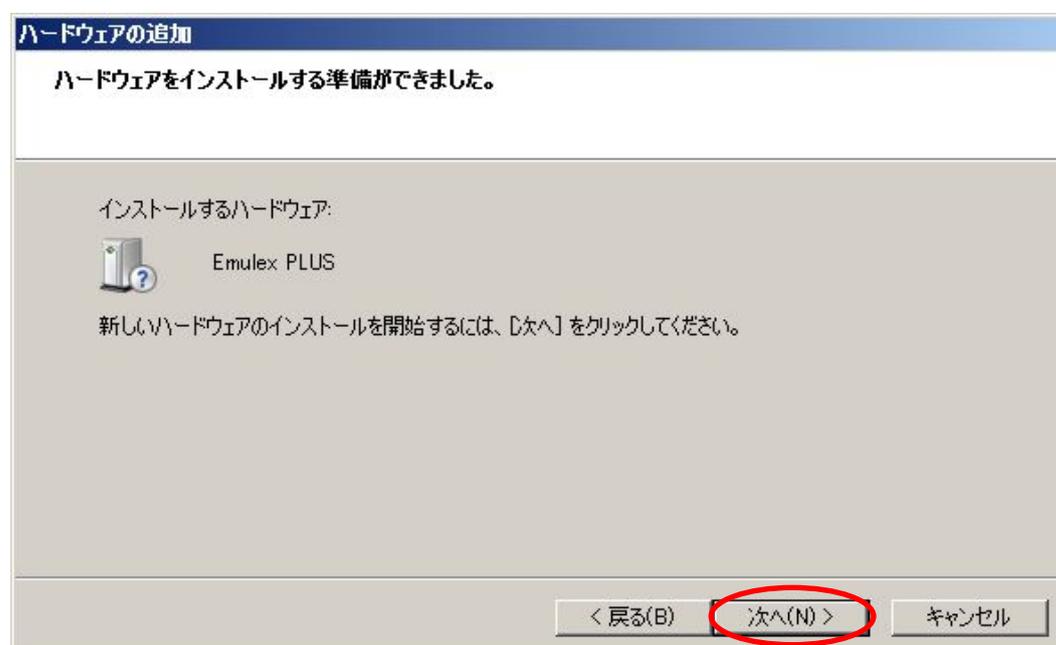
【手順 10】

「Emulex PLUS」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



【手順 11】

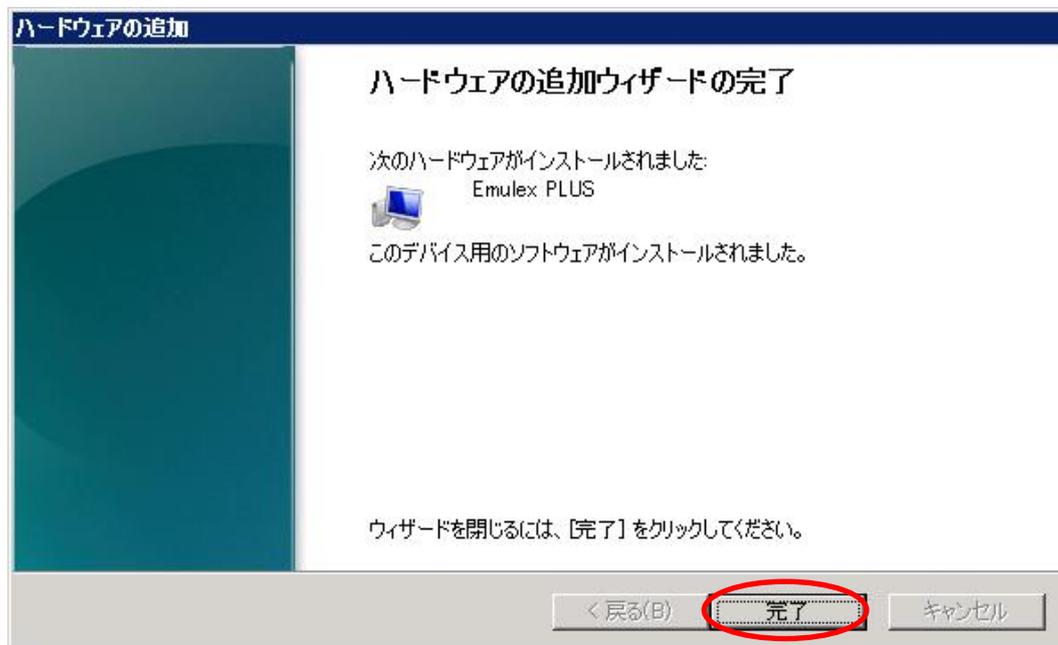
『次へ』ボタンをクリックします。



【手順13】

フィルタドライバ (Emulex PLUS) のインストール完了画面が表示されます。

『次へ』 ボタンをクリックし、5章「HBAnyware のインストール」へ進みます。



4.10 フィルタドライバのインストール (Windows Server 2008 R2)

以降の手順にしたがってフィルタドライバをインストールします。

【手順1】

搭載した FC コントローラのドライバ名称およびバージョンを確認します。

「コンピュータの管理」→「デバイスマネージャ」起動後、搭載した FC コントローラを選択し、その「プロパティ」→「ドライバ」タブを開きます。

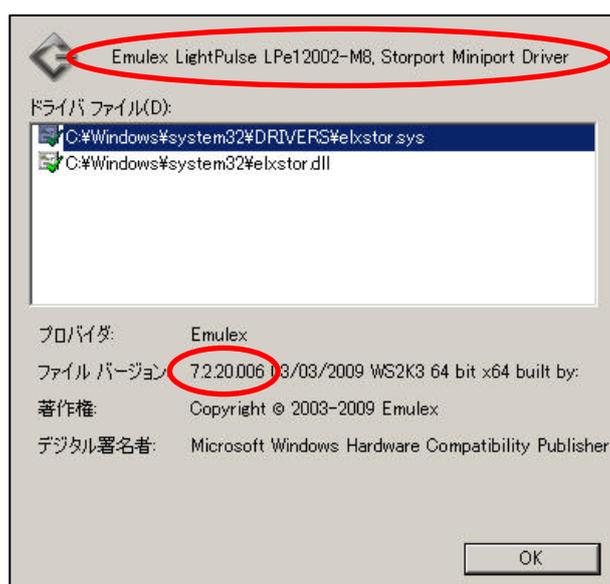
表7 ドライバ名称

FC コントローラ 型番	ドライバ名称 (表示)
N8190-127	Emulex LightPulse LPe1150-F4, Storport Miniport Driver / Emulex LightPulse LPe1150-F4-N, Storport Miniport Driver
N8190-131	Emulex LightPulse LPe11002-M4, Storport Miniport Driver
N8403-018	Emulex LightPulse LPe1105-N, Storport Miniport Driver
N8190-153	Emulex LightPulse LPe1250-F8, Storport Miniport Driver
N8190-154	Emulex LightPulse LPe12002-M8, Storport Miniport Driver
N8403-034	Emulex LightPulse LPe1205-N, Storport Miniport Driver

表8 ドライバ・バージョン

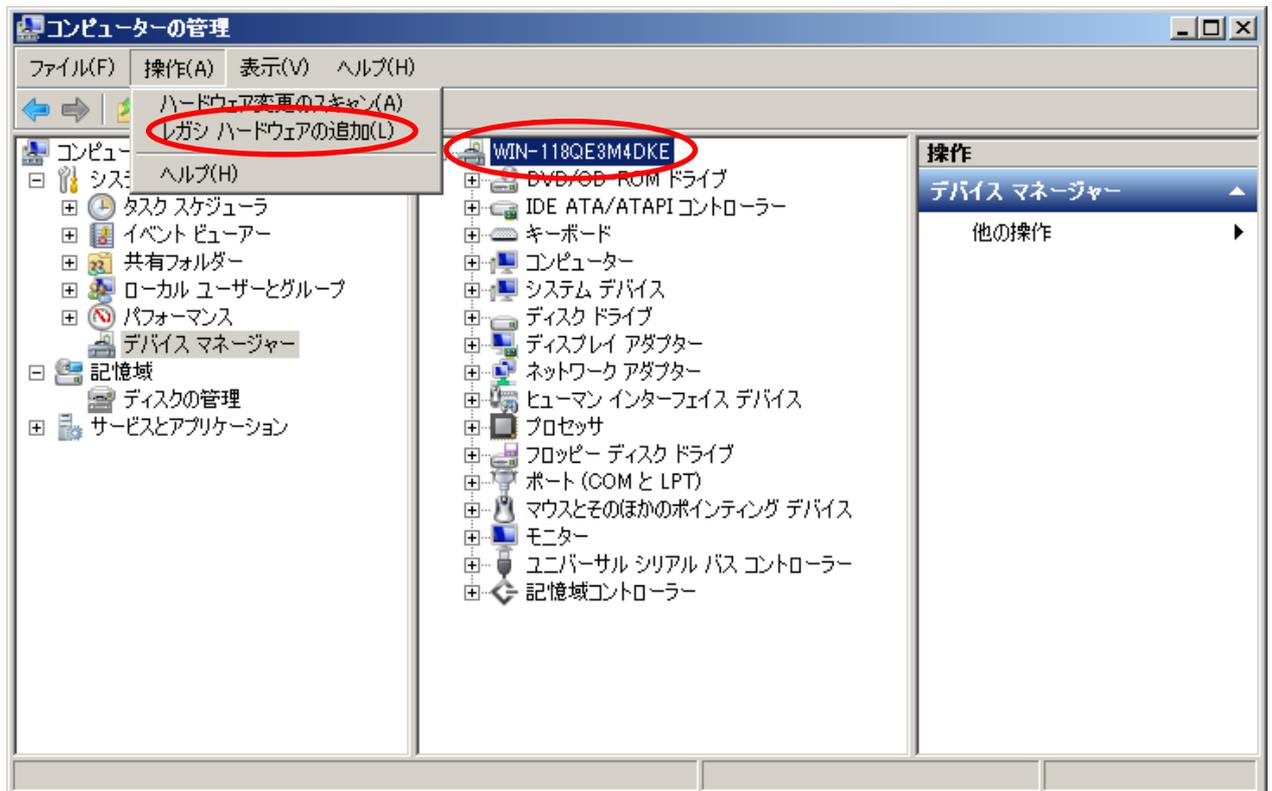
OS	ドライバ・バージョン
Windows Server 2008 R2	7.2.20.006

※バージョンを確認する際は「ドライバの詳細」をクリックしてください。



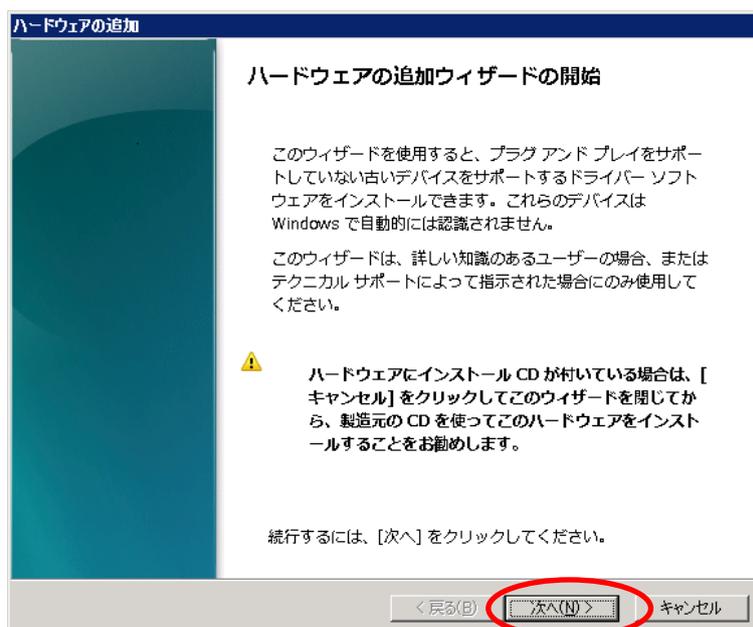
【手順 2】

「コンピュータの管理」→「デバイスマネージャ」起動後にサーバのアイコンを選択し、「操作」→「レガシ ハードウェアの追加」を選択します。



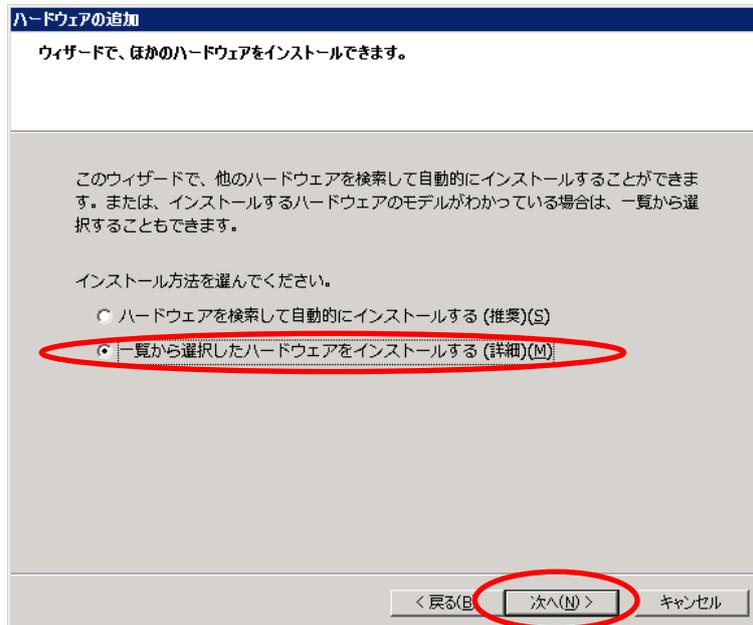
【手順 3】

ハードウェアの追加ウィザードの開始が表示されます。
『次へ』ボタンをクリックします。



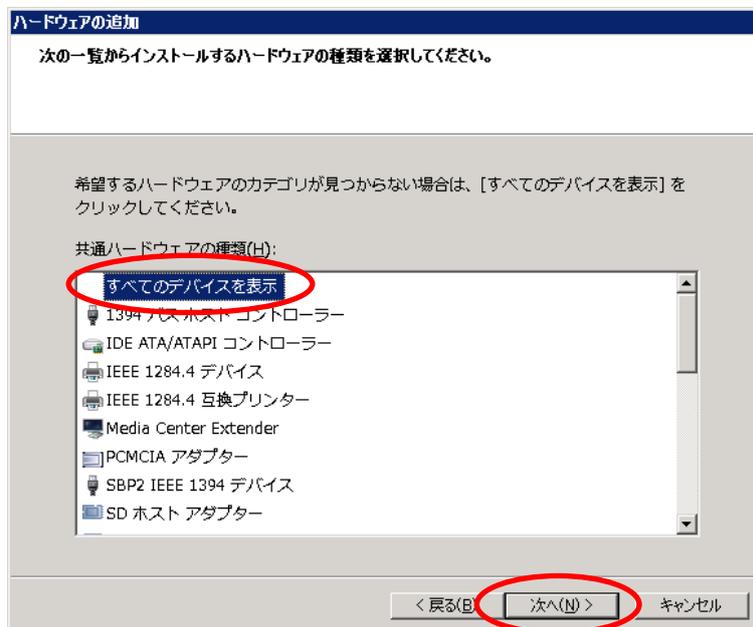
【手順 4】

「一覧から選択したハードウェアをインストールする」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



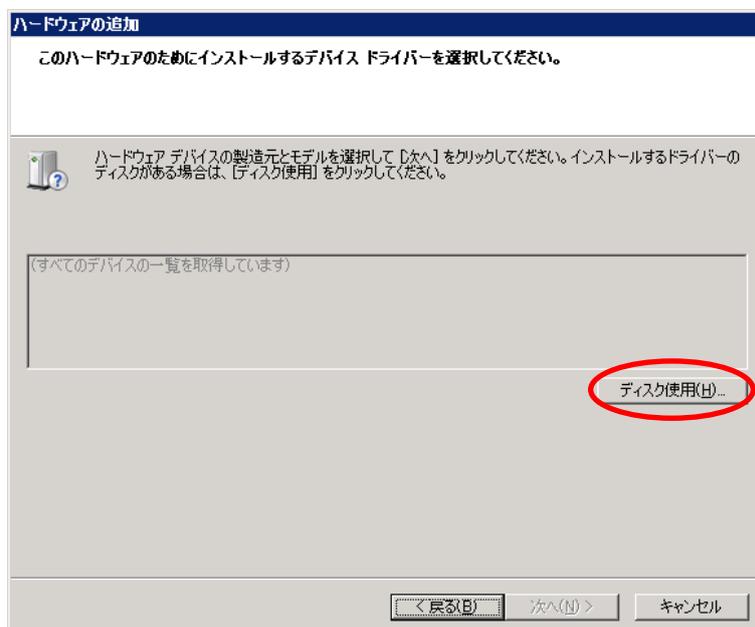
【手順 5】

「すべてのデバイスを表示」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



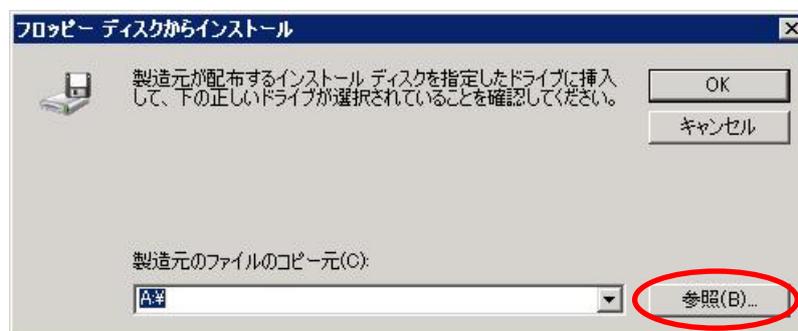
【手順 6】

『ディスク使用』ボタンをクリックします。



【手順 7】

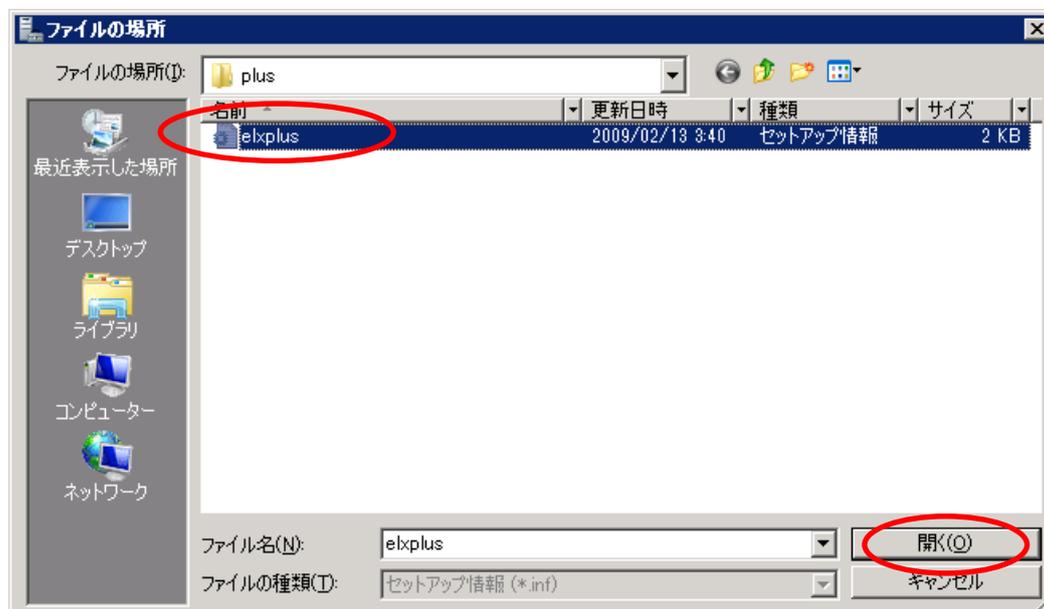
「製造元のファイルのコピー元」に FC ドライバの収納パス（「elxplus.inf」ファイルが含まれるフォルダを指定）を入力し、『OK』ボタンをクリックします。



【手順 8】

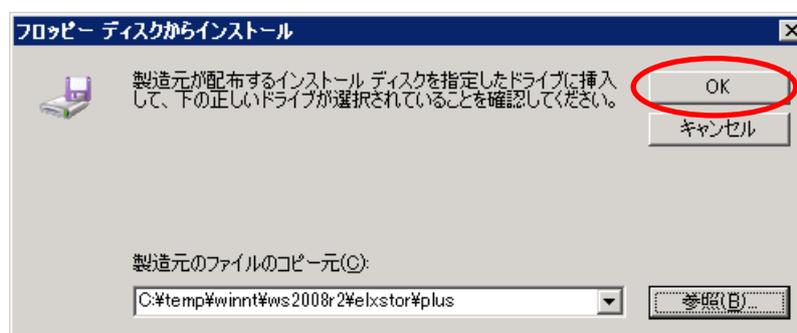
「elxplus.inf」ファイルを選択し、『開く』ボタンをクリックします。

※ 本例では「c:\temp\winnt\ws2008r2\elxstor\plus」フォルダ内に「elxplus.inf」ファイルが存在します。



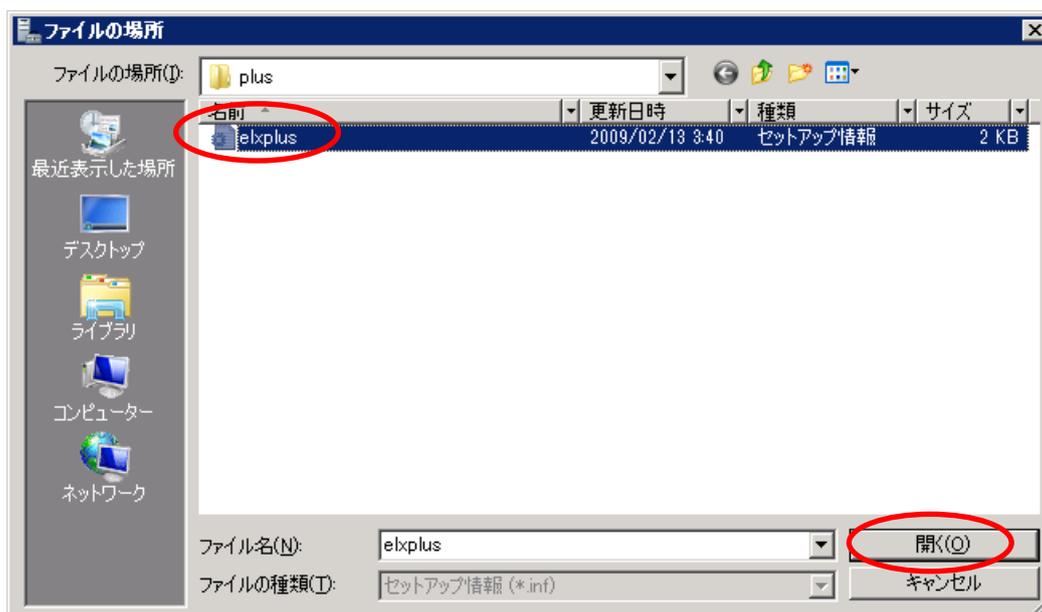
【手順 9】

『OK』ボタンをクリックします。



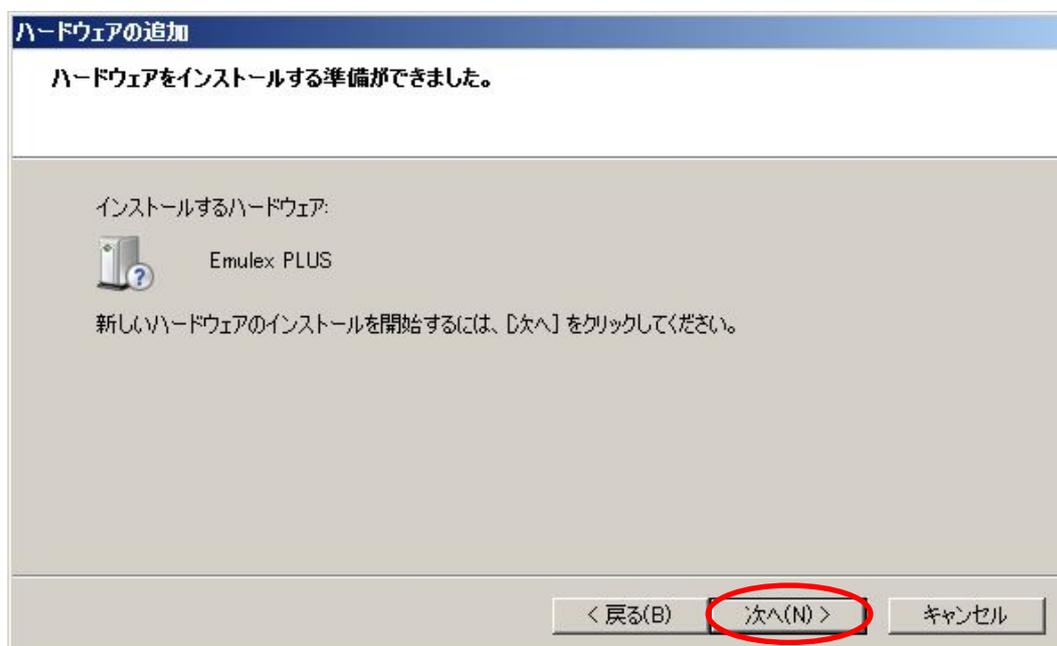
【手順 10】

「Emulex PLUS」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



【手順 11】

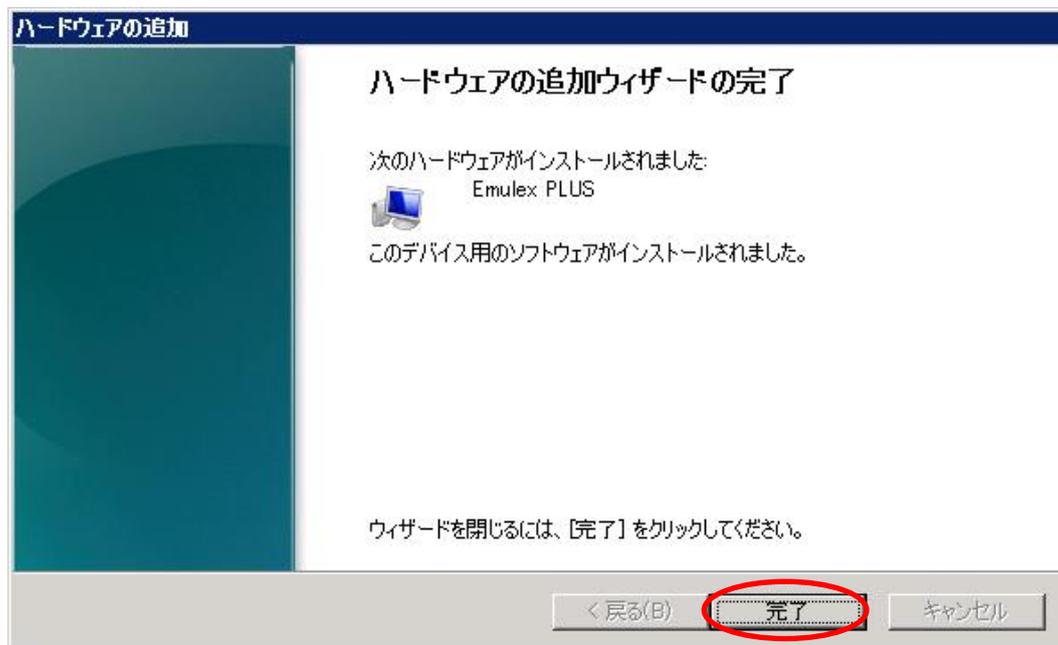
『次へ』ボタンをクリックします。



【手順 12】

フィルタドライバ (Emulex PLUS) のインストール完了画面が表示されます。

『次へ』 ボタンをクリックし、5 章「HBAnyware のインストール」へ進みます。



5. HBAware のインストール

本章では、Target ID の固定に使用する Target Mapping ソフトウェア「HBAware」のインストール手順、および注意事項について説明します。

インストールを行う前に、NEC コーポレートサイト（”<http://www.nec.co.jp/>”）のサポート・ダウンロード、PC サーバより対象の FC コントローラを検索・選択して「HBAware」をダウンロードします。

ご使用の環境（OS と FC コントローラの組み合わせ）により、ダウンロード対象ファイル、およびインストール方法が異なります。（下表参照のこと。）

表9 HBAware ダウンロードファイル一覧

組合せ	FC コントローラ	対象 OS	ダウンロードファイル名	参照項
1	N8190-127/131 N8403-018※1	Windows Server 2003	hbany_w2k3_2.zip	5.1 項
2		Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008	hbany_w2k8_1.zip	5.2 項
3	N8190-153/154 N8403-034	Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2003	hbany_w2k8_8g_1.zip	5.3 項

※1 N8190-153/154/N8403-034 と同一本体装置内に混在している場合は、組合せ3として作業を進めてください。

ダウンロード完了後、HBAware のインストール作業へ進みます。

- N8190-127/131/N8403-018 + Windows Server 2003 をご使用の場合

（組合せ1）⇒ 5.1 項へ進みます。

- N8190-127/131/N8403-018 + Windows Server 2008 R2/2008 をご使用の場合

（組合せ2）⇒ 5.2 項へ進みます。

- N8190-153/154/N8403-034 + Windows Server 2008 R2/2008/2003 をご使用の場合

（組合せ3）⇒ 5.3 項へ進みます。

5.1 N8190-127/131/N8403-018 + Windows Server 2003 の場合

以降の手順にしたがって HBAware をインストールします。

【手順 1】

事前にダウンロードした HBAware を任意のフォルダに解凍します。

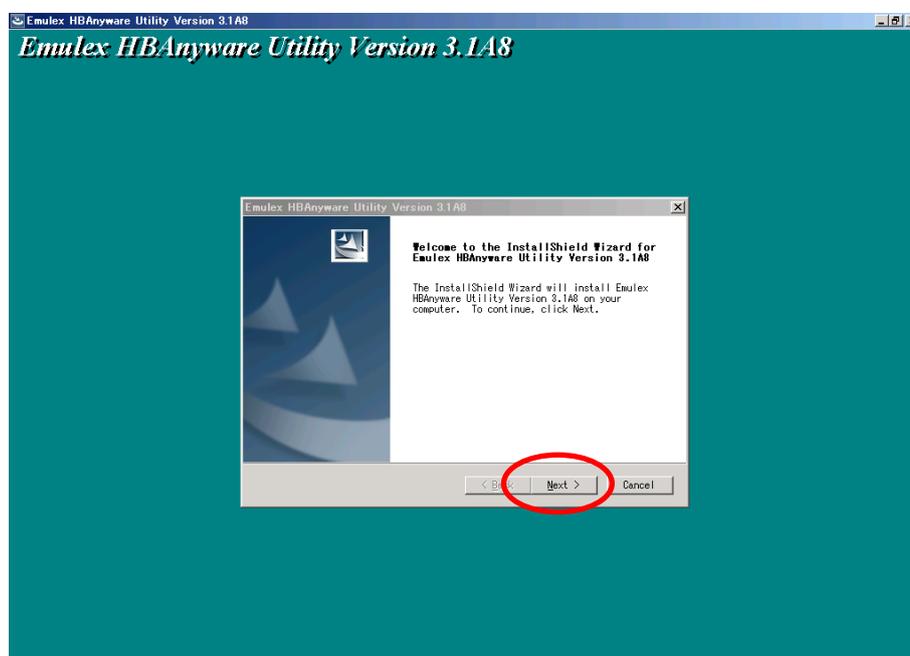
注意：ダウンロードファイルは ZIP 圧縮形式（ファイル名：hbany_w2k3_2.zip）です。

【手順 2】

解凍したフォルダ内の「setupapps.exe」を実行します。

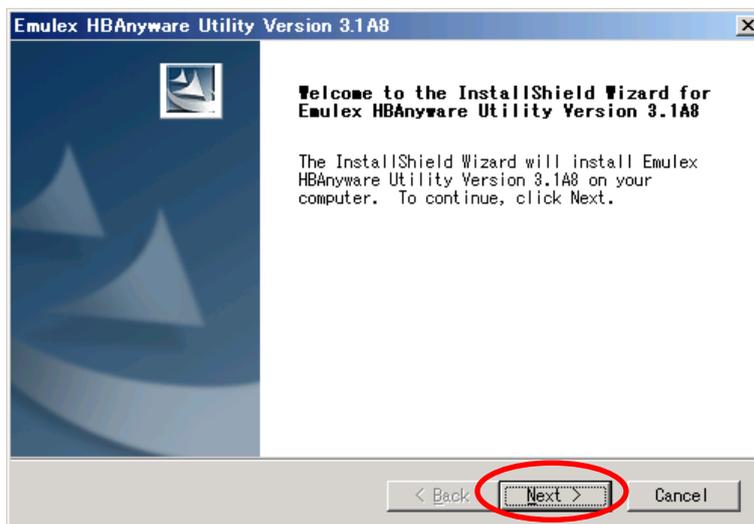
【手順 3】

インストールウィザードの起動後、『Next』ボタンをクリックします。



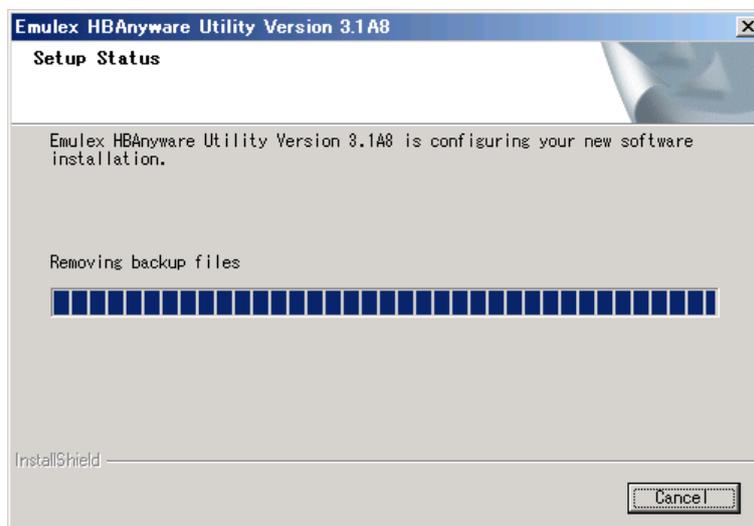
【手順 4】

インストールの確認画面が表示されます。
『Next』ボタンをクリックします。



【手順 5】

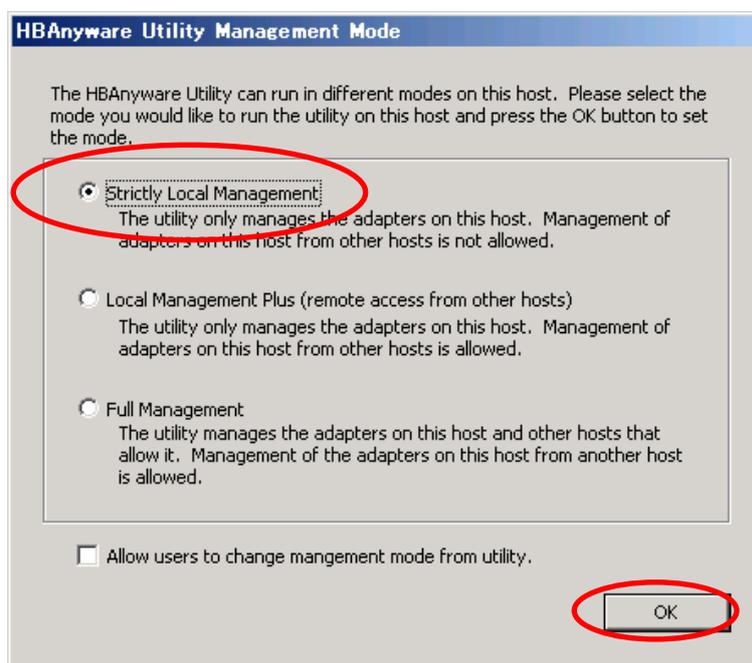
インストールが開始されます。



【手順 6】

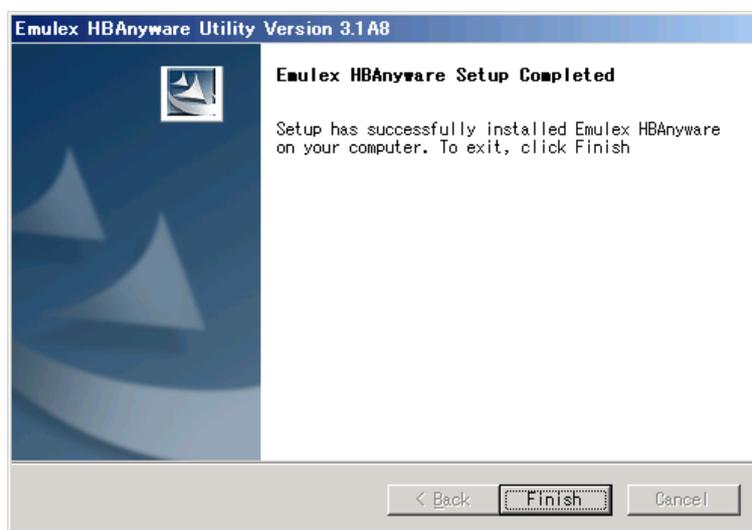
HBAnyware のモード選択画面が表示されます。

『Strictly Local Management』を選択して『OK』ボタンをクリックします。



【手順 7】

インストール正常終了時、「Setup Completed」が表示されます。



【手順 8】

上記表示確認後、『Finish』ボタンをクリックします。

【手順 9】

以上で HBAnyware のインストールは完了です。

⇒ 6 章「Target ID の固定」へ進みます。

5.2 N8190-127/131/N8403-018 + Windows Server 2008 R2/2008 の場合

以降の手順にしたがって HBAware をインストールします。

【手順 1】

事前にダウンロードした HBAware を任意のフォルダに解凍します。

注意：ダウンロードファイルは ZIP 圧縮形式（ファイル名：hbany_w2k8_1.zip）です。

【手順 2】

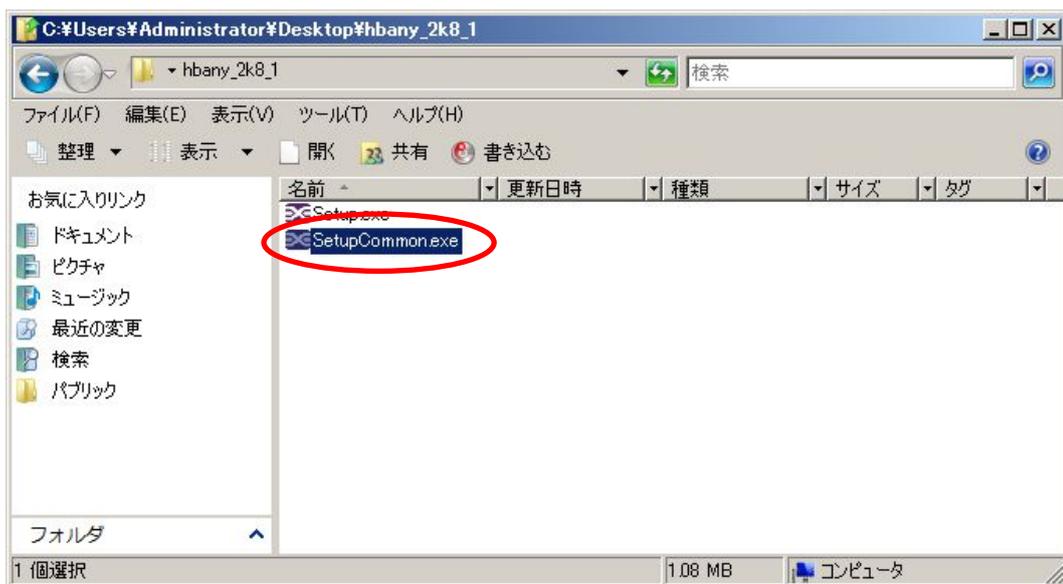
解凍したフォルダ内の「SetupCommon.exe」を実行します。

※本例ではダウンロードしたファイルをデスクトップ上に解凍しています。

注意：解凍したフォルダ内にセットアップファイルが 2 つあります。

実行する順序に注意してください。

（Steup.exe は【手順 6】で実行します）



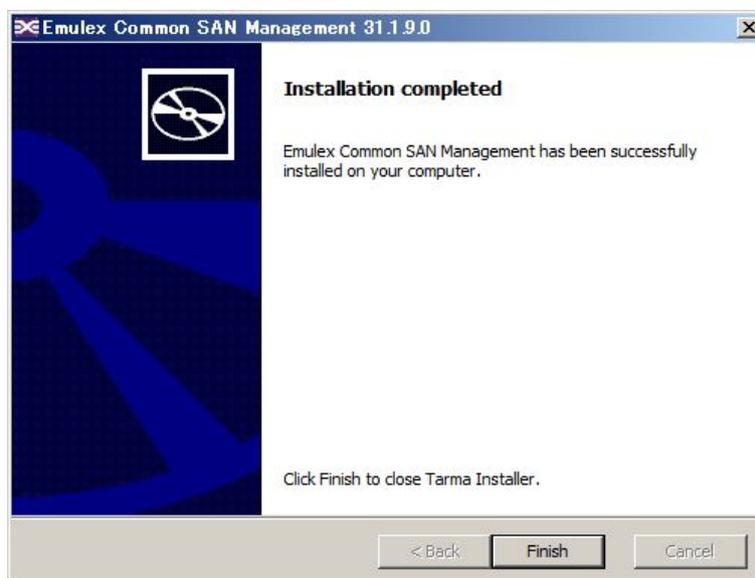
【手順 3】

インストールの確認画面が表示されます。
『Next』 ボタンをクリックします。



【手順 4】

インストール正常終了時、「Installation completed」が表示されます。

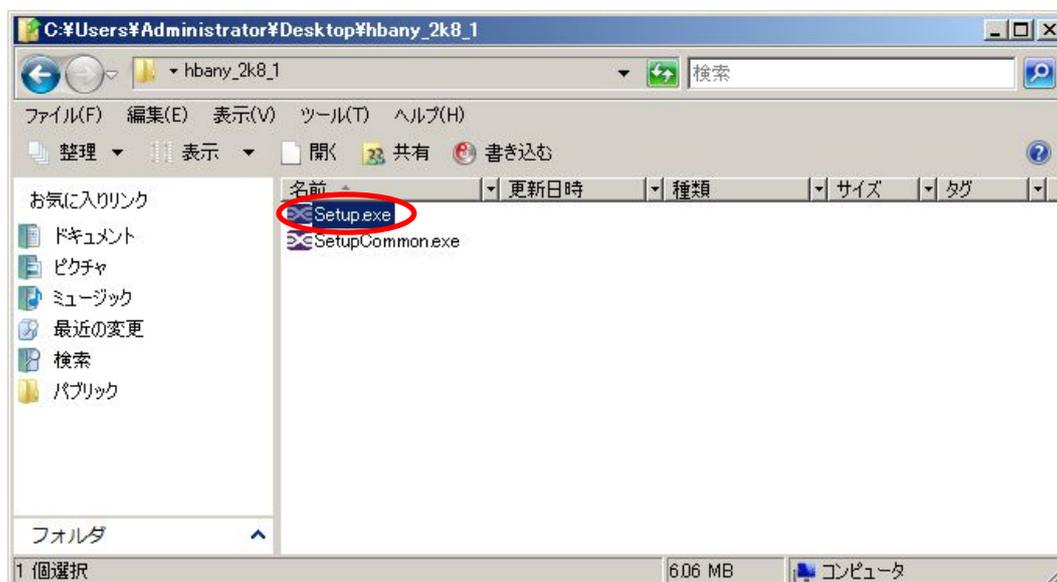


【手順 5】

上記表示確認後、『Finish』 ボタンをクリックします。

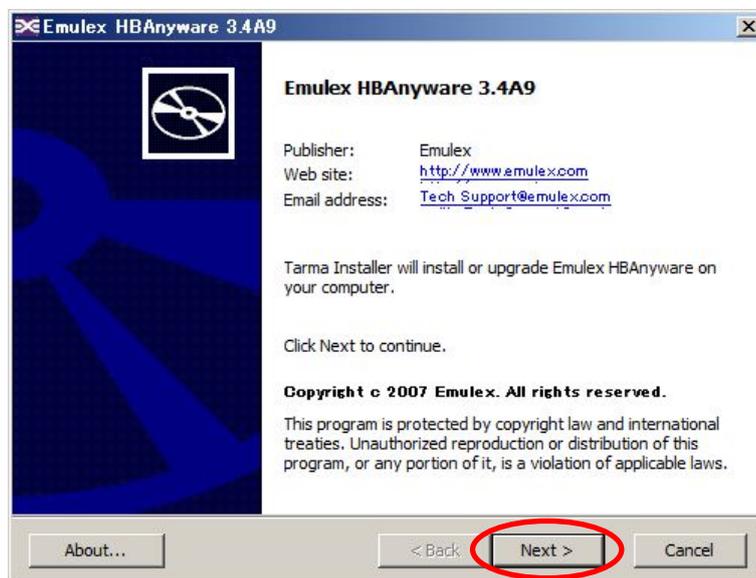
【手順 6】

続いて、【手順 2】で解凍したフォルダ内の「Setup.exe」を実行します。



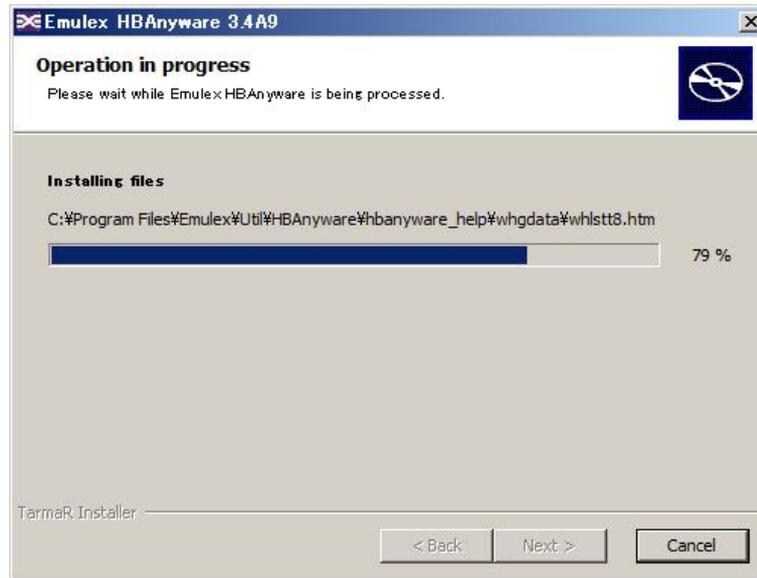
【手順 7】

『Next』ボタンをクリックします。



【手順 8】

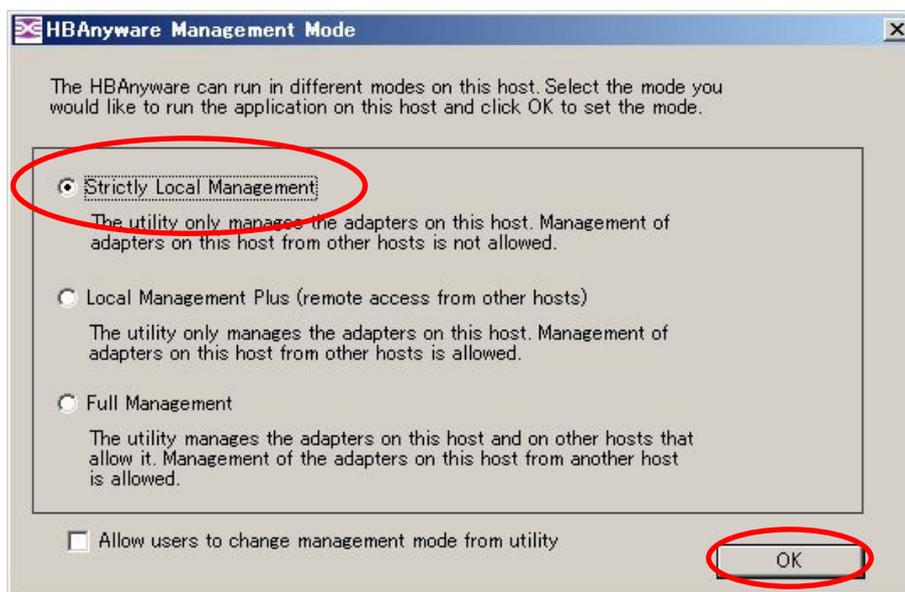
インストールが開始されます。



【手順 9】

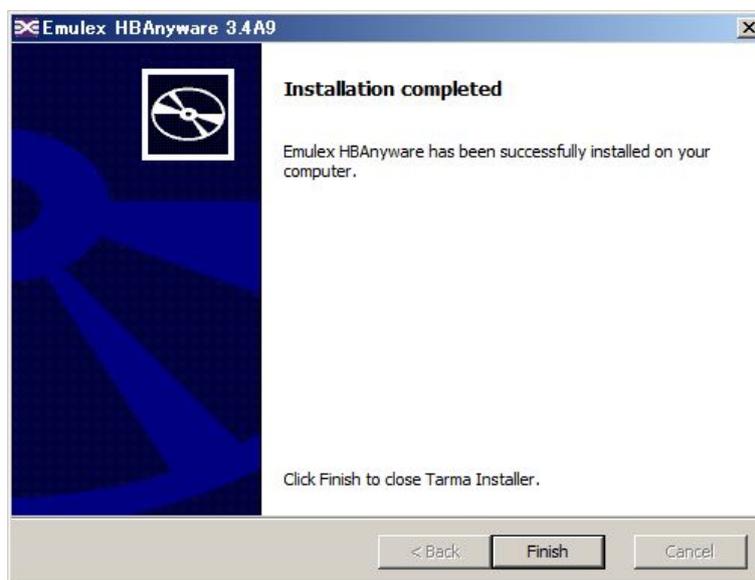
HBAnyware のモード選択画面が表示されます。

『Strictly Local Management』を選択して『OK』ボタンをクリックします。



【手順 10】

インストール正常終了時、「Installation completed」が表示されます。



【手順 11】

上記表示確認後、『Finish』ボタンをクリックします。

【手順 12】

以上で HBAnyware のインストールは完了です。

⇒ 6章「Target ID の固定」へ進みます。

5.3 N8190-153/154/N8403-034 + Windows Server 2008 R2/2008/2003 の場合

以降の手順にしたがって HBAware をインストールします。

【手順 1】

事前にダウンロードした HBAware を任意のフォルダに解凍します。

注意：ダウンロードファイルは ZIP 圧縮形式（ファイル名：hbany_w2k8_8g_1.zip）です。

【手順 2】

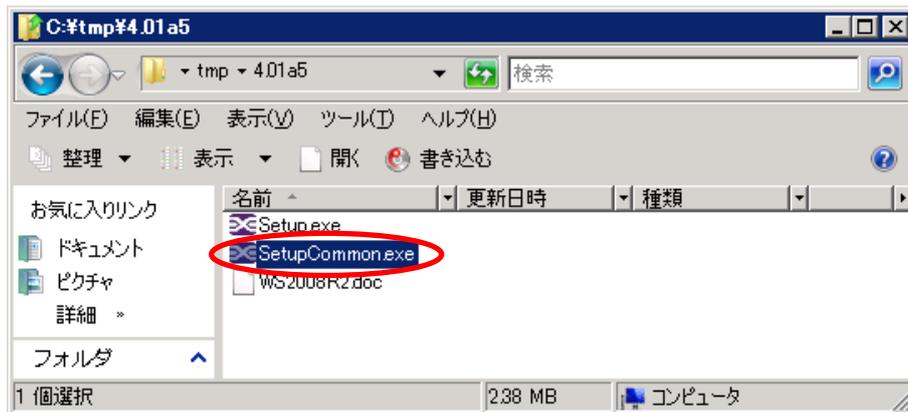
解凍したフォルダ内の「SetupCommon.exe」を実行します。

※本例ではダウンロードしたファイルをデスクトップ上に解凍しています。

注意：解凍したフォルダ内にセットアップファイルが 2 つあります。

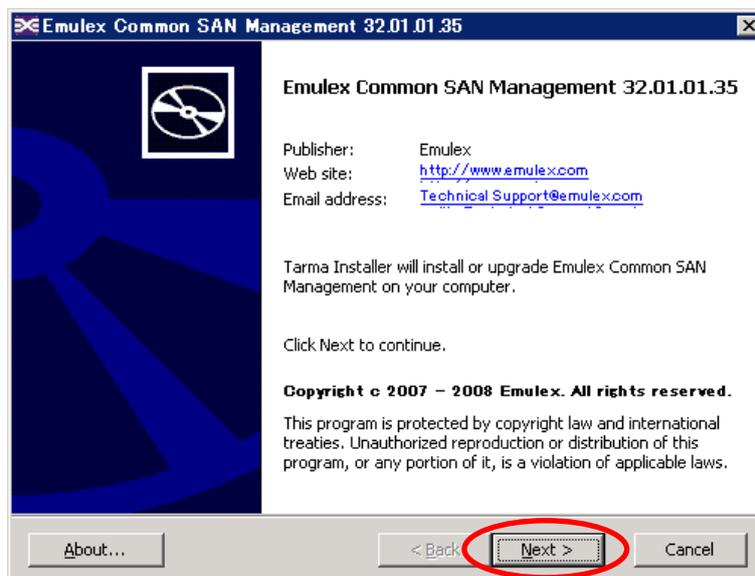
実行する順序に注意してください。

（Steup.exe は【手順 6】で実行します）



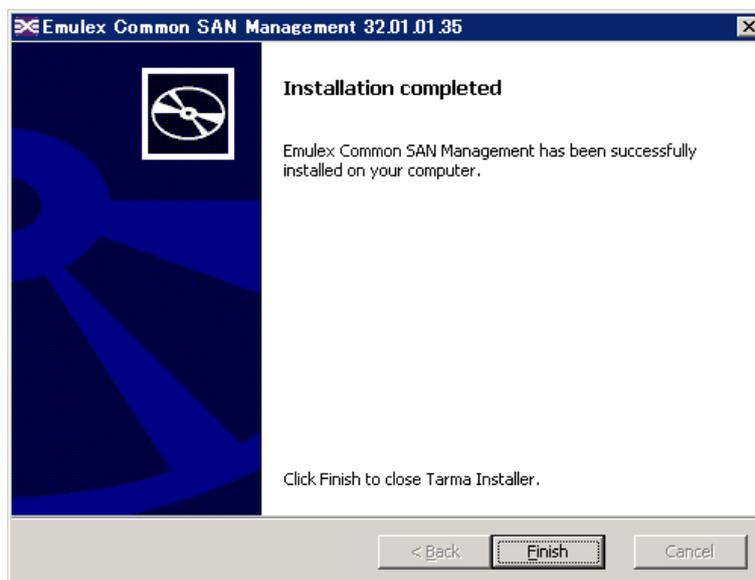
【手順 3】

『Next』ボタンをクリックします。



【手順 4】

インストール正常終了時、「Installation completed」が表示されます。

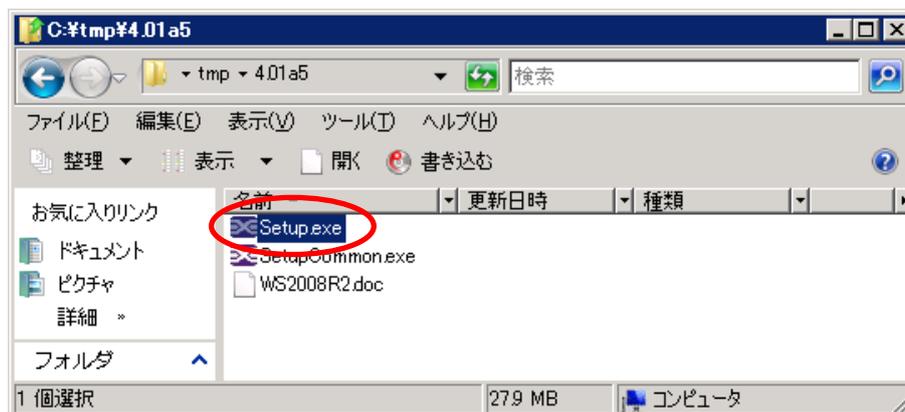


【手順 5】

上記表示確認後、『Finish』ボタンをクリックします。

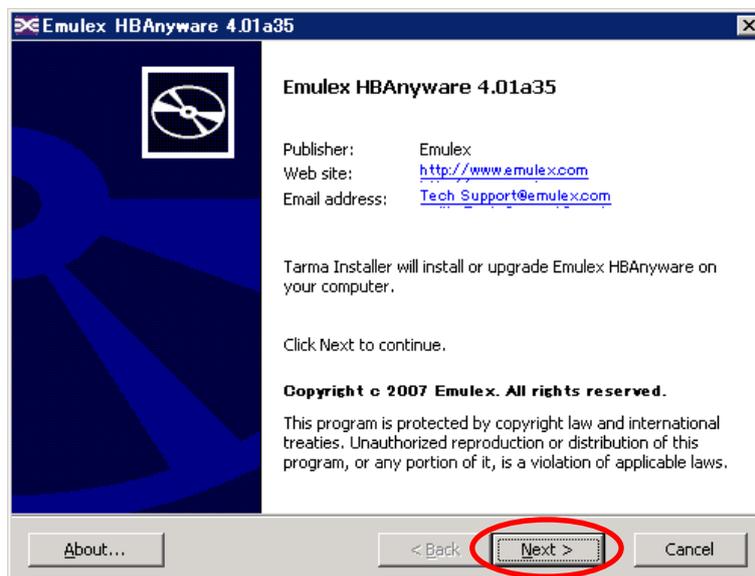
【手順 6】

続いて、【手順 2】で解凍したフォルダ内の「Setup.exe」を実行します。



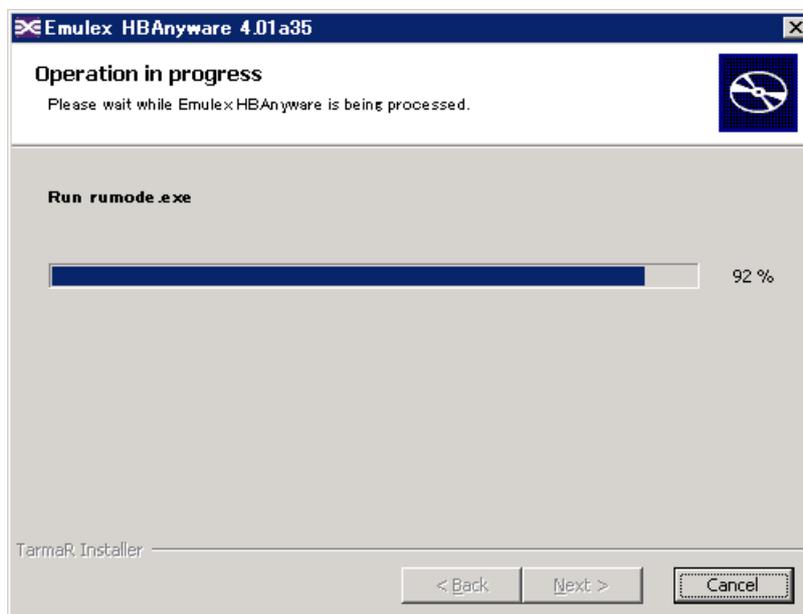
【手順 7】

インストールの確認画面が表示されます。
『Next』ボタンをクリックします。



【手順 8】

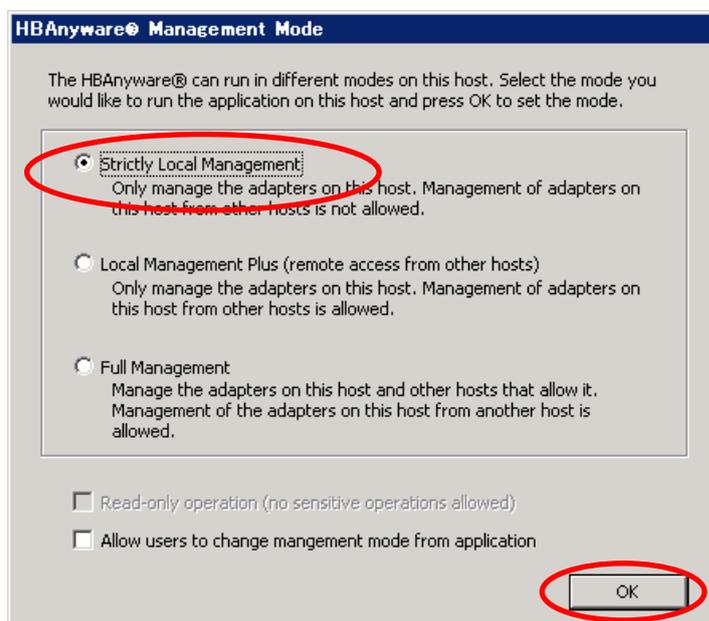
インストールが開始されます。



【手順 9】

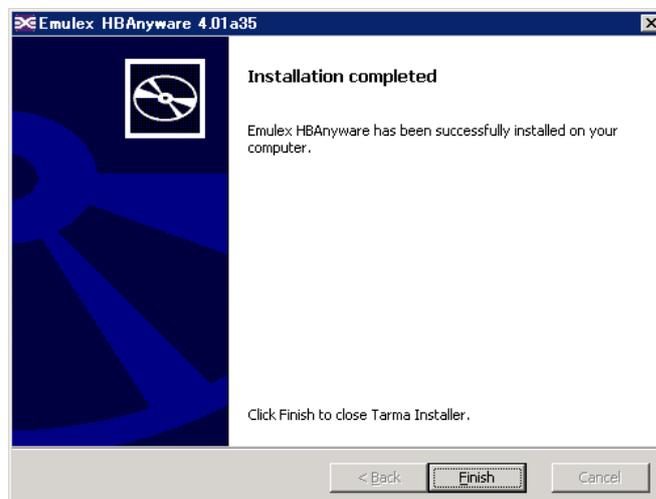
HBAware のモード選択画面が表示されます。

『Strictly Local Management』を選択して『OK』ボタンをクリックします。



【手順 10】

インストール正常終了時、「Installation completed」が表示されます。



【手順 11】

上記表示確認後、『Finish』ボタンをクリックします。

【手順 12】

以上で HBAware のインストールは完了です。

⇒ 6 章「Target ID の固定」へ進みます。

5.4 HBAnyware 使用時の注意事項

HBAnyware のご使用にあたり、下記の事項を厳守してください。

- SAN Boot 構成では OS が起動しなくなってしまうことがありますので、本書の手順で Target ID を固定しないでください。
- HBAnyware は、iStorage の Target ID を設定する目的においてのみ、インストールして使用してください。
Target ID 設定後は、必ずアンインストールしてください。(7章参照のこと)
- HBAnyware は、下記 FC ドライバのみがインストールされて正常に動作しているシステムにおいて使用可能です。
 - ・ Elxstor.sys (Storport Miniport Driver)
- フィルタドライバ (Emulex PLUS) がインストールされていない環境では正常に Target ID を固定することができません。

※N8190-127/131+Windows Server 2003 環境で FC ドライバのバージョンが 5-1.11A0/7-1.11A0 であるときを除く。

6. Target ID の固定

本章では、HBAnyware を使用して Target ID を固定する手順について説明します。

※本章での手順はすべての組合せで共通です。

[重要]

本章に記載されている内容以外の操作は絶対に行わないでください。
記載内容以外の操作により問題が発生した場合、問い合わせおよび調査等の対応は
できかねますので、ご注意ください。
また SAN Boot 構成では OS が起動しなくなることがありますので、本書の手順
で Target ID を固定しないでください。

以降の手順にしたがって Target ID を固定に設定します。

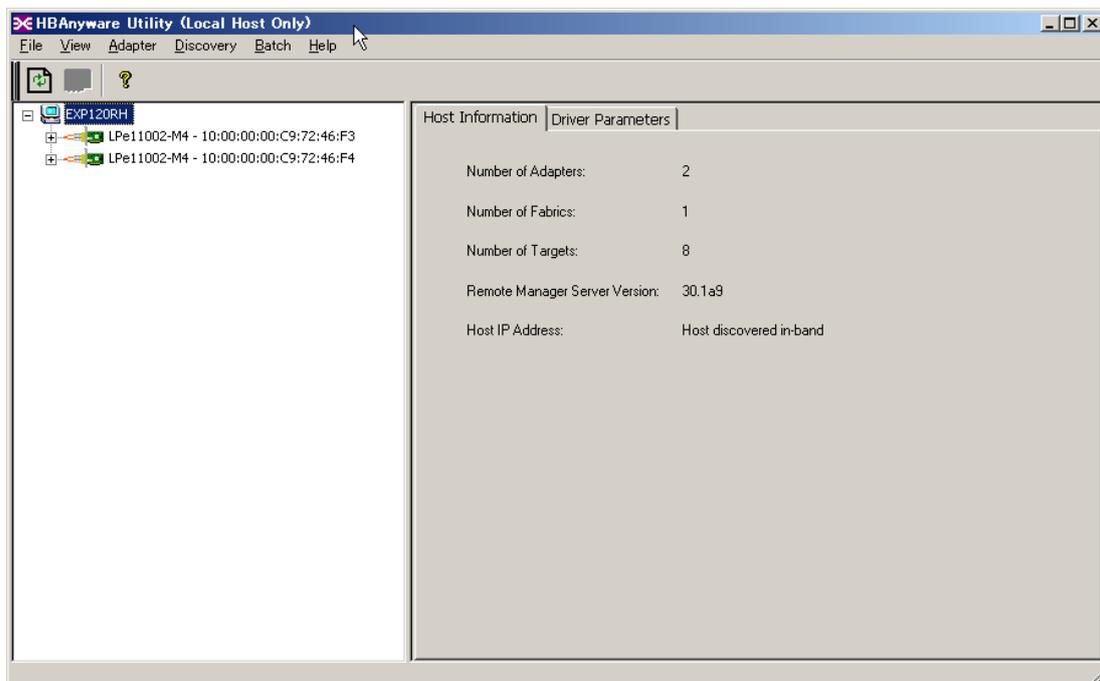
【手順1】

HBAnyware を起動します。

スタートメニューから「すべてのプログラム」⇒「Emulex」⇒「HBAnyware Utility」
を選択します。

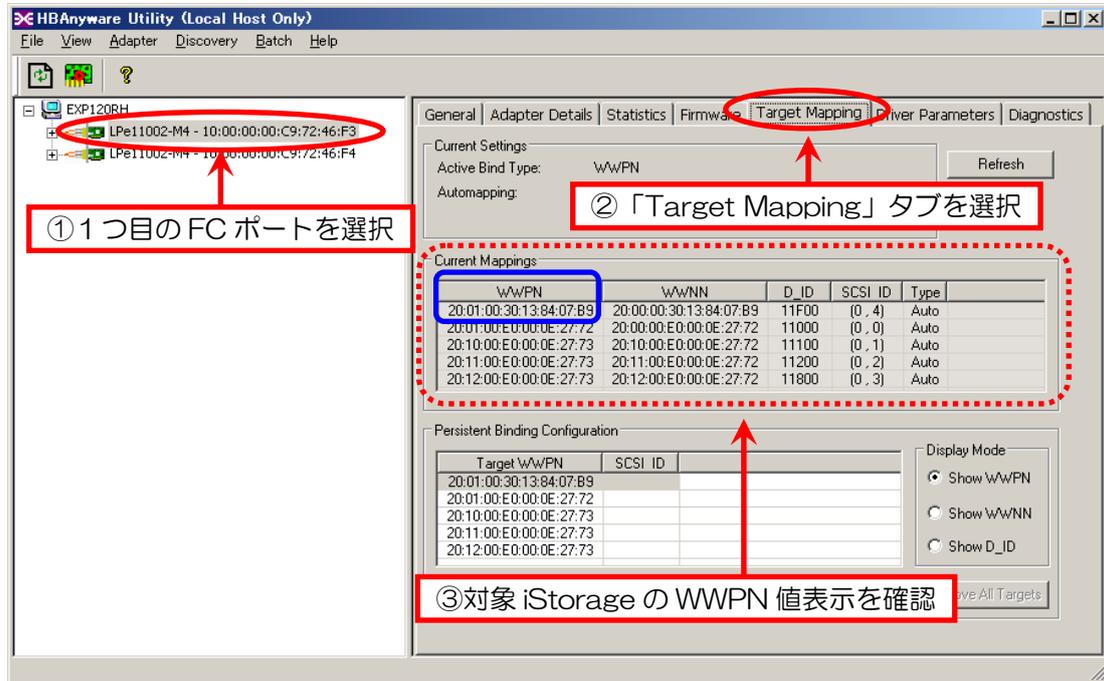
※Windows Server 2008 R2/2008 の場合には、スタートメニューから「すべてのプ
ログラム」⇒「Emulex」⇒「HBAnyware」を選択します。

※以降、Windows Server 2003 のイメージ画面を掲載していますが、
Windows Server 2008 R2/2008 の場合も操作は同様です。



【手順2】

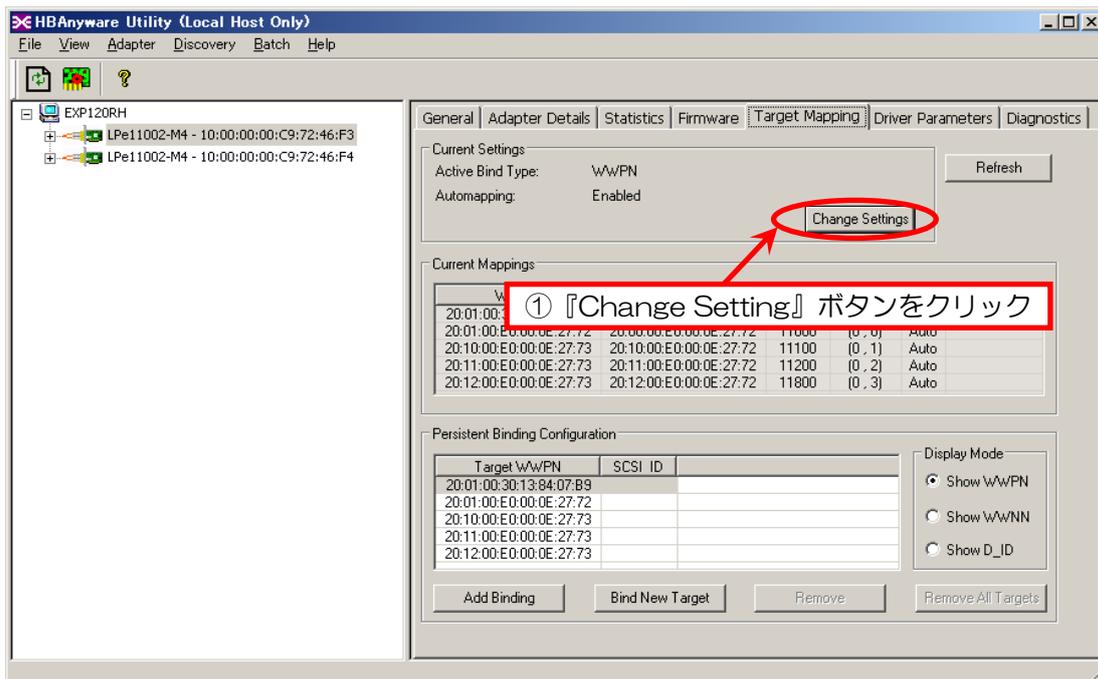
画面左フレームから1つ目のFCポートを選択後、画面右フレームにて「Target Mapping」タブを選択します。 Current Mapping 欄（本例では下図点線枠内の青枠部分）に対象となる iStorage の WWPN 値が表示されていることを確認します。



注意：対象となる iStorage の WWPN 設定値が表示されていない場合には、本体装置との接続状況（デバイス設定、各ケーブルの接続状態等）を再度確認してください。

【手順3】

iStorage の WWPN 値が表示されていることを確認した後、『Change Settings』ボタンをクリックします。



【手順4】

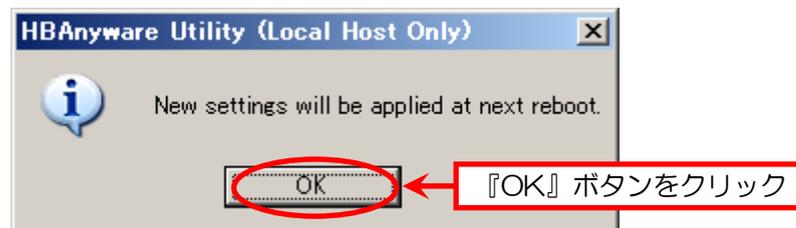
「Mapping Target Settings」画面が表示されます。
「Auto Mapping」の「Disabled」、続いて「Bind Type」の「WWPN」を選択し、
『OK』ボタンをクリックします。



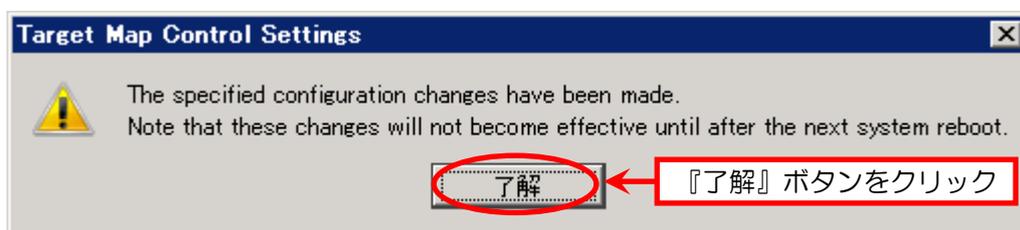
【手順5】

ご使用の FC コントローラにより、『OK』ボタンまたは『了解』ボタンをクリックします。

<N8190-127/131/N8403-018 + Windows Server 2003 設定時>

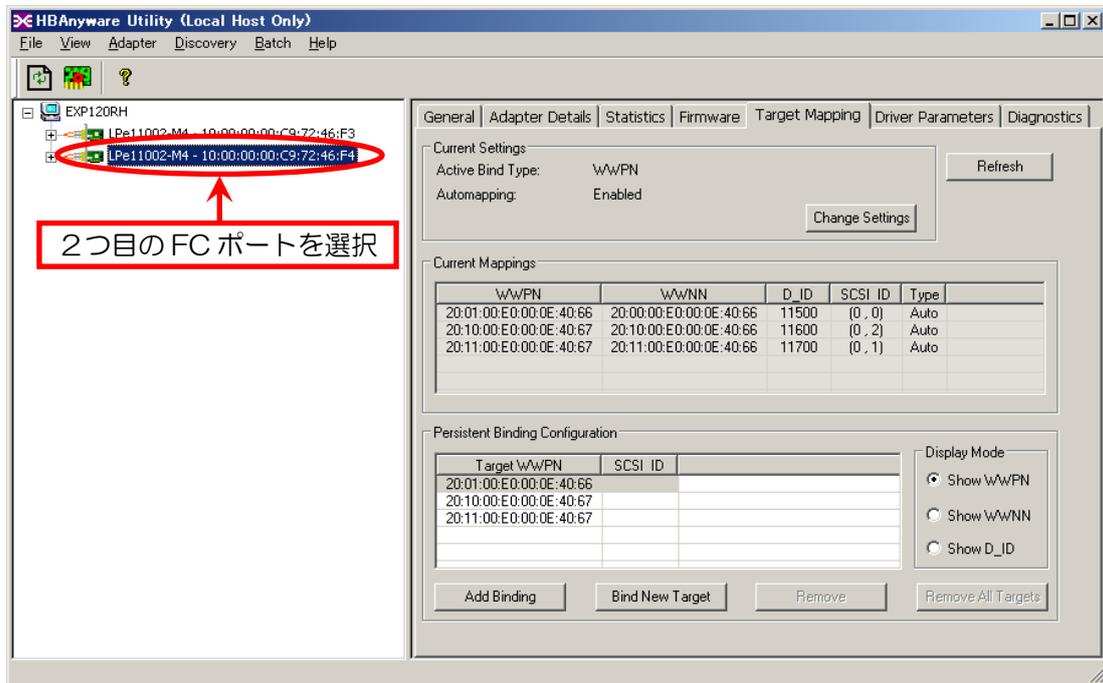


<N8190-153/154/N8403-034 もしくは Windows Server 2008 R2/2008 設定時>



【手順6】

2つ目のFCポートに対しても【手順2】～【手順5】を実施します。



【手順7】

iStorage が接続されている全てのFCポートに対して【手順4】の「Mapping Target Settings」の完了後、HBAnywareを終了してWindowsを再起動します。

注意：再起動後から「Target Mapping」の設定が完了までの間はTarget Deviceが認識されませんが本現象は異常ではありません。ただし、SAN Boot構成ではTarget Deviceが認識できないとそのデバイスからOS起動できなくなってしまいますので、SAN Boot構成では再起動前に「Auto Mapping」を「Enabled」に戻してください。

【手順8】以降にしたいが、Target Deviceを任意の「Bus ID」および「Target ID」を固定することで正常に認識されるようになります。

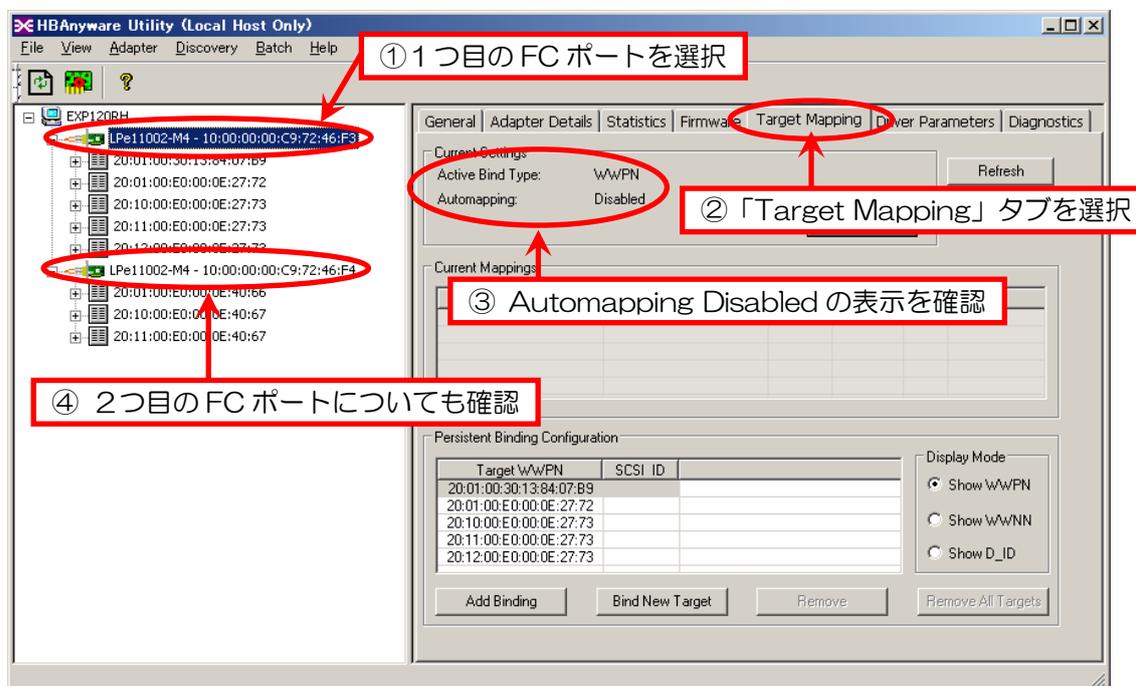


【手順8】

Windows の再起動後、HBAnyware を起動します。

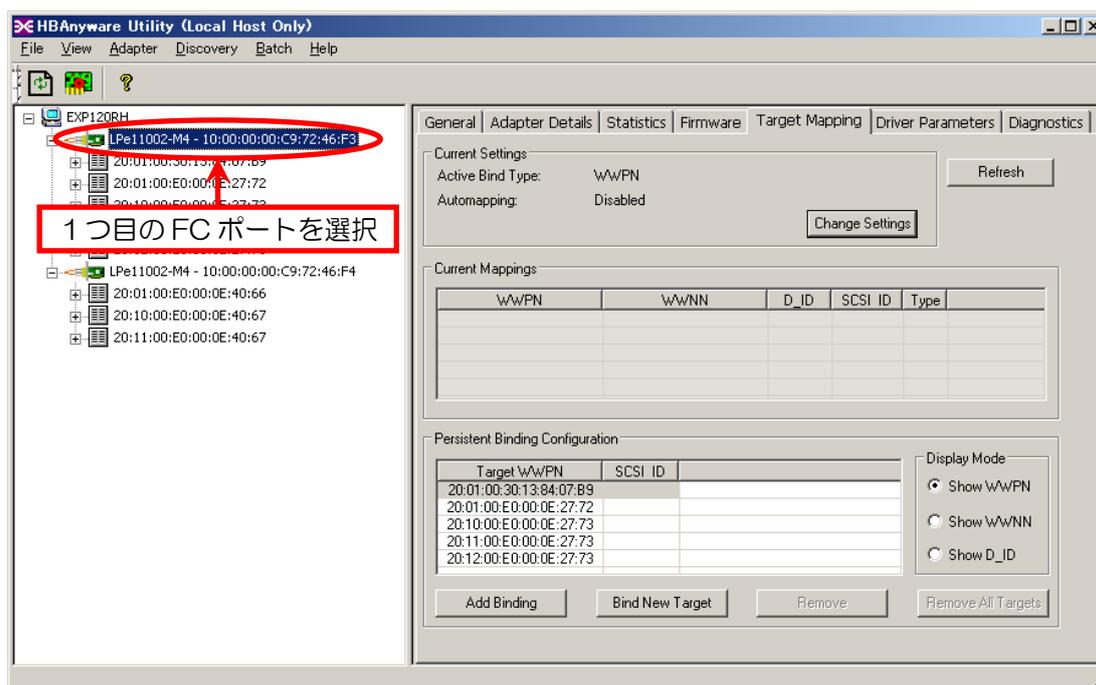
1 つ目の FC ポートを選択後に「Target Mapping」タブを選択し、「Automapping Disabled」と表示されていることを確認します。

(下記画面は1つ目のFCポート確認例、2つ目のFCポートについても同様に確認します。)



【手順9】

1 つ目の FC ポートを選択します。



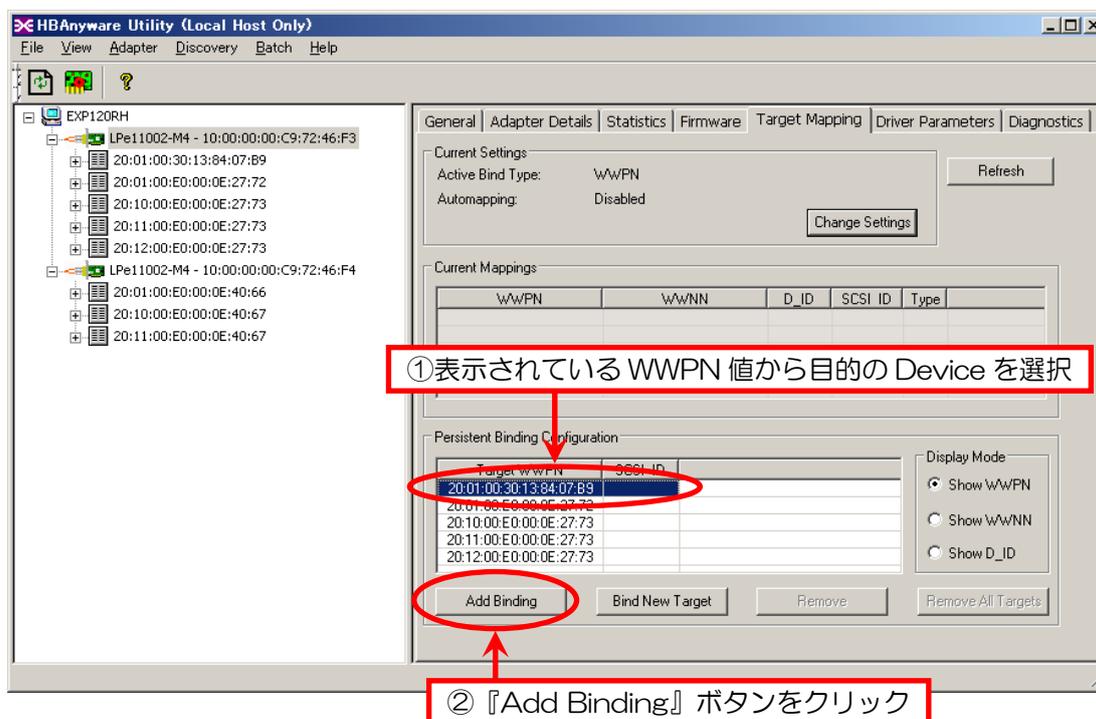
【手順 10】

Target Device の Bind を実施します。

Target Device を選択し、『Add Binding』 ボタンをクリックします。

注意：Target Device の選択には「Target WWPN」の値を参照します。

3 章で確認した WWPN の設定値から、目的の Device を選択してください。



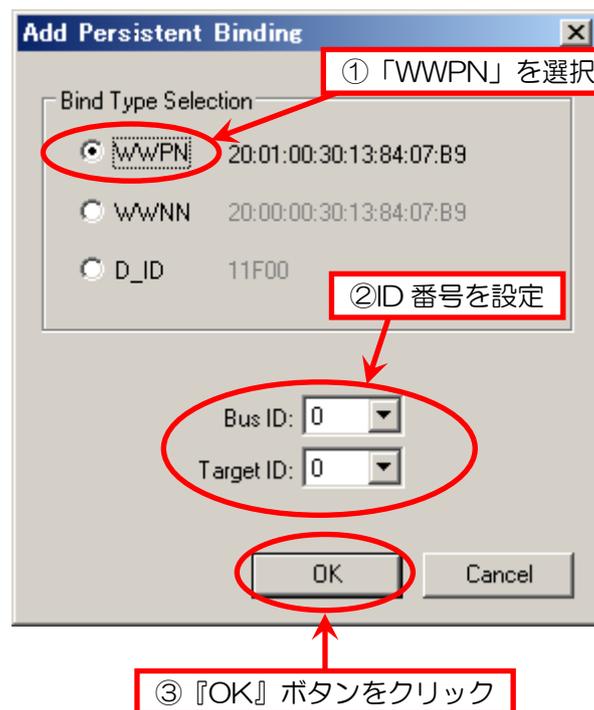
【手順 1 1】

「Add Persistent Binding」画面が表示されます。
「Bind Type Selection」で「WWPN」を選択し、「Bus ID」と「Target ID」をそれぞれ設定します。

設定が完了したら『OK』ボタンをクリックします。

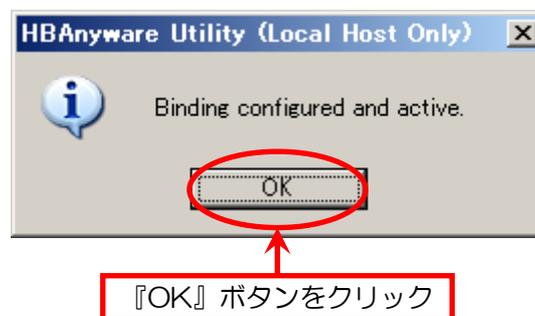
※「Bus ID」の値は、プルダウンメニューで表示されるもっとも小さい番号を選択してください。

※「Target ID」の値は、固定したい番号を選択してください。
通常は、プルダウンメニューで表示されるもっとも小さい番号から順に選択します。



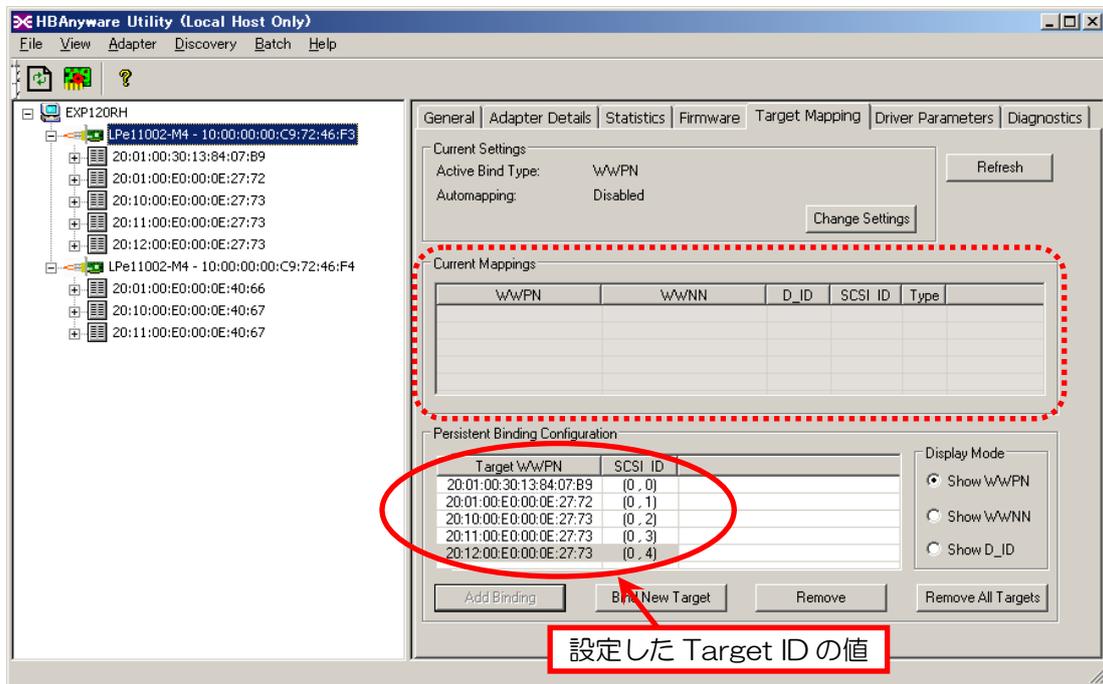
【手順 1 2】

以下のポップアップメッセージが表示されますので、『OK』ボタンをクリックします。
（【手順 1 3】内の「注意」を参照のこと）



【手順 1 3】

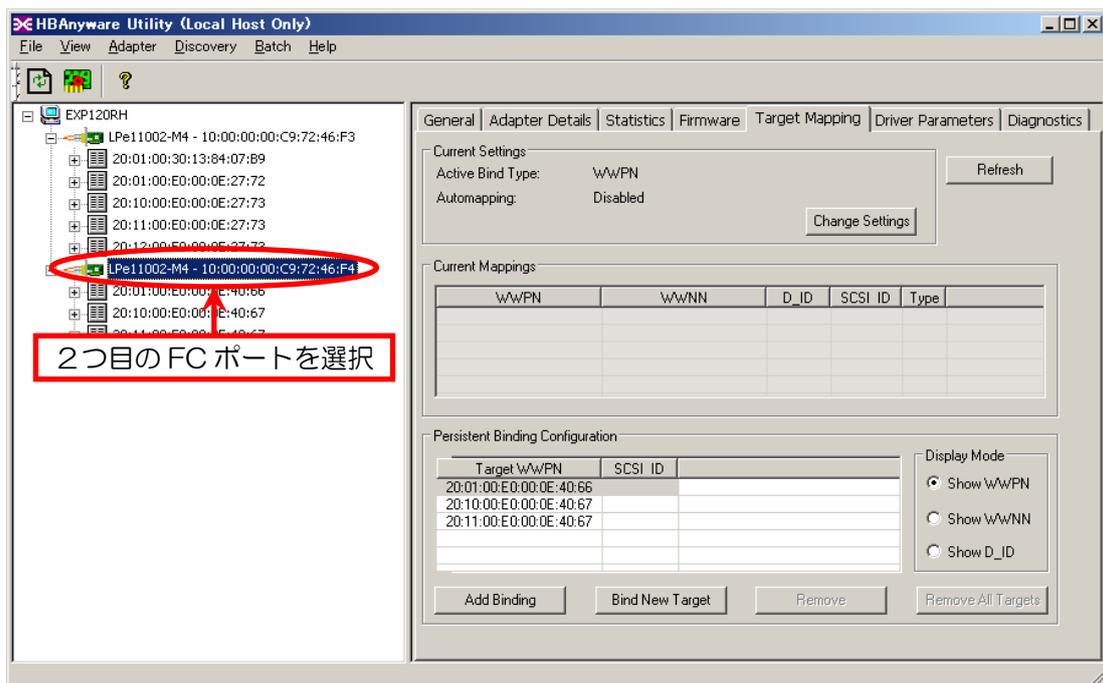
1つ目のFCポートに接続されているすべてのTarget Deviceについて、
【手順 1 0】～【手順 1 2】を実施します。



注意：【手順 1 2】および本手順において「Target ID」を設定後（OK ボタンをクリック後）、Current Mapping 欄（上図点線枠内）に値が表示される場合がありますが、そのまま作業を進めてください。（次頁、【手順 1 5】の図を参照のこと）

【手順 1 4】

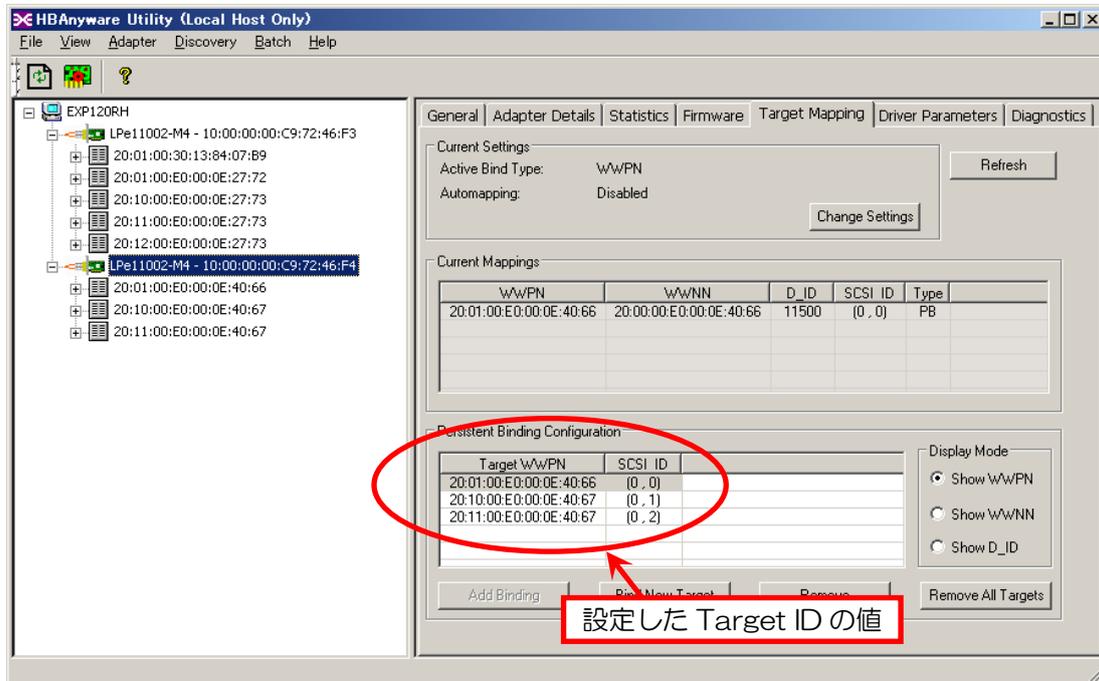
2つ目のFCポートを選択します。



【手順 15】

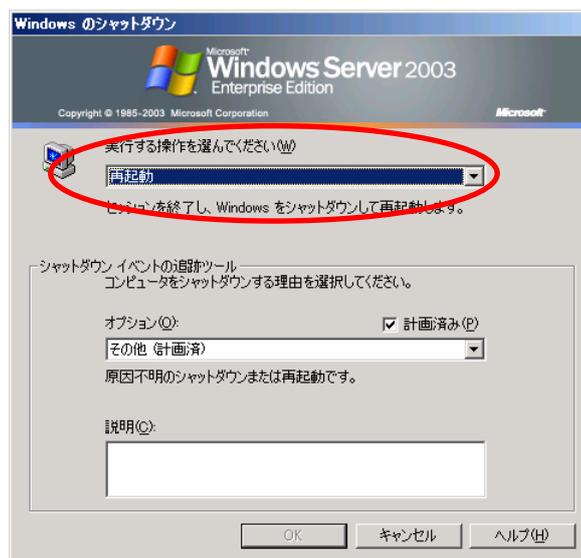
1つ目のFCポートと同様に、Target Device の Bind (【手順 10】～【手順 13】参照) を実施します。

※「1つ目のFCポート」の記述は「2つ目のFCポート」に読み替えてください。



【手順 16】

すべての Bind 完了後、HBAAnyware を終了して Windows を再起動します。

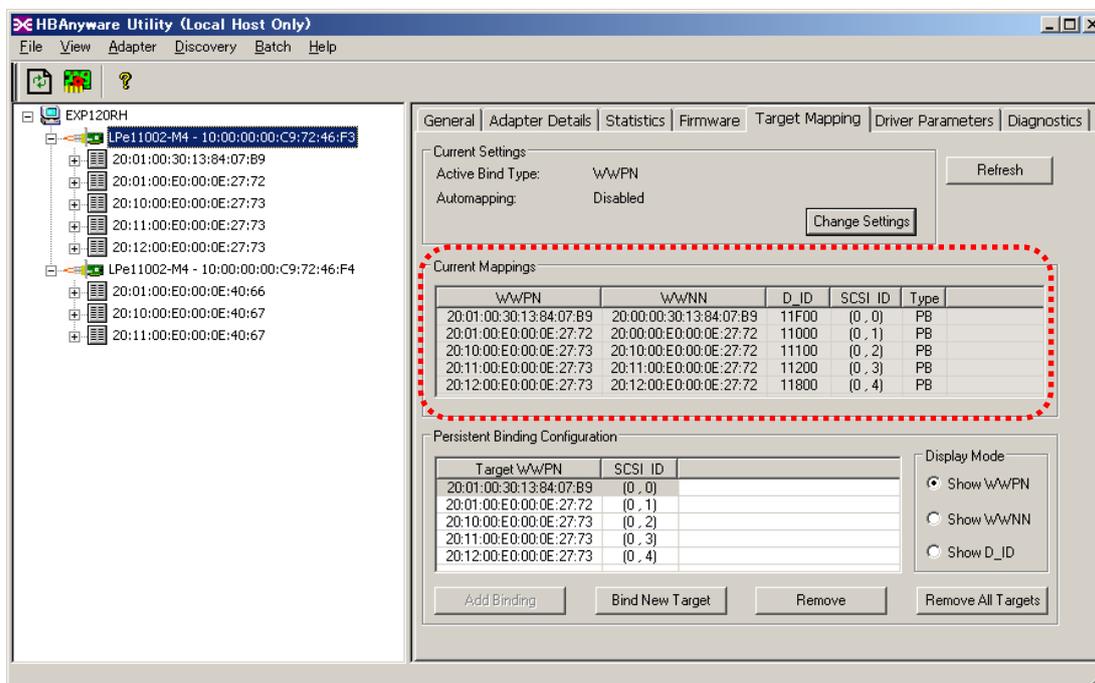


【手順 1 7】

Windows の再起動後、HBAnyware を起動します。

1 つ目の FC ポートを選択後に「Target Mapping」タブを選択し、「Current Mapping」欄に先ほど設定した Target ID の値が表示されていることを確認します。

(下記画面は 1 つ目の FC ポート確認例、2 つ目の FC ポートについても同様に確認します。)



【手順 1 8】

Target ID が正しく設定されたことを確認後、HBAnyware を終了します。

【手順 1 9】

以上で Target ID の設定は完了しました。

第 7 章「HBAnyware のアンインストール」へ進みます。

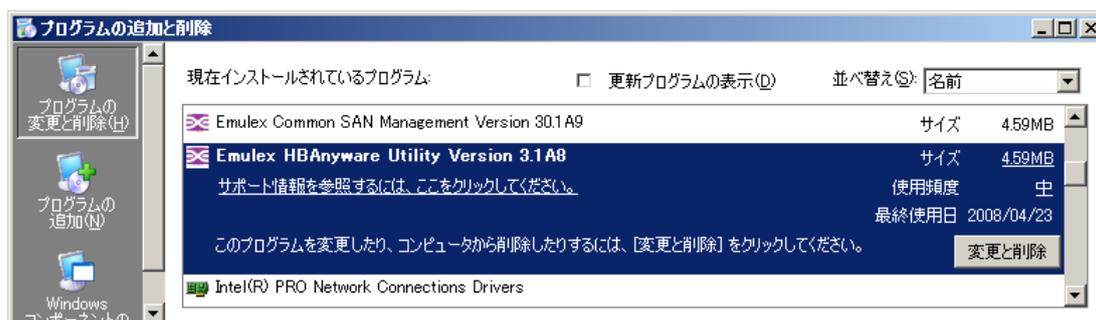
注意：Target ID 設定後は、必ずアンインストールしてください。

7. HBAware のアンインストール

本章では、「HBAware」のアンインストール手順および注意事項について説明します。

7.1 Windows Server 2003 の場合

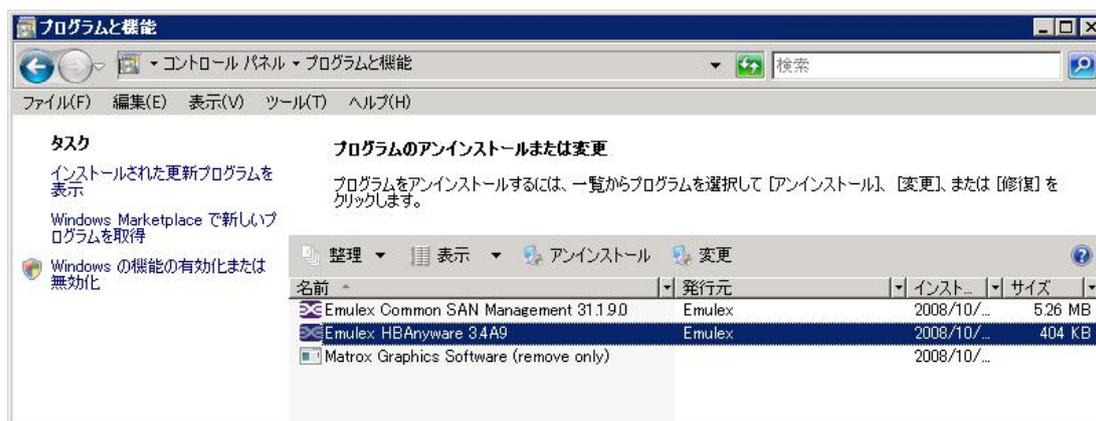
「スタートメニュー」⇒「すべてのプログラム」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの追加と削除」から「Emulex HBAware Utility Version ***」を選択し、アンインストールを実行します。



注意：「Emulex Common SAN Management Version **」は削除しないでください。

7.2 Windows Server 2008 R2/2008 の場合

「スタートメニュー」⇒「すべてのプログラム」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムと機能」から「Emulex HBAware **」を選択し、アンインストールを実行します。



注意：「Emulex Common SAN Management **」は削除しないでください。

8. 特記事項

HBAware を使用して iStorage の WWPN を固定させた後に、FC コントローラの交換、iStorage の追加などの構成変更をおこなった際には Target ID 固定の再設定が必要となります。

保護紙

(このページは意図的に空白にしています)